

令和5年度

事業報告書

社会福祉法人

西予総合福祉会

令和5年度 事業報告

今年度は、5月に新型コロナが感染症法上の分類が5類に移行し、各施設や事業所の対応も新たな段階を迎えた。しかし散発的に新型コロナやインフルエンザ等の感染が発生、5類移行後も福祉施設の役割として利用者の生命 safety を第一に感染拡大防止に努めてきた。10月には市内高齢者グループホームでのクラスター発生に職員1名を派遣し、他事業所の事業継続に貢献した。また、今年1月の能登半島地震に際し短期間ではあるが、厚労省からの要請に応じ、金沢市の1.5次避難所に2名の職員を介護従事者として派遣した。それぞれの応援を通して、緊急時での法人の強みを発揮することができた。特にこの能登半島地震を目の当たりにして、様々な情報により実効性のある災害対策の必要性を法人として認識した。そこで次年度、災害対策計画の見直しを具体的にすすめるために部会を立ち上げることを幹部会や施設長会で確認した。

現在最大の懸案となっている老朽化している養護老人ホーム三楽園の移転新築については、建設予定地である旧二木生小学校への進入路拡張工事が終了し、旧二木生小学校校舎の解体工事が11月には完了した。12月には新築工事起工式が行われ、いよいよ建設の開始に至った。年度末段階では基礎工事の最中であるが、順調に進捗すれば令和6年11月末には竣工予定となり、利用者が待ちに待った新しい建物での生活となる。更に松葉寮において、介護基盤緊急整備等事業補助金を活用し、多床室であってもプライバシーに配慮した居室への間仕切り改修工事を行い、年度末までに工程を完了した。

下宇和保育園分園である明間保育園は、新年度の利用希望者が3名のみであり、適切な保育活動を行うことが困難なため、保護者や地元自治会役員に丁寧な説明をし、了承を得た上で次年度からの休園を決定した。次に高山保育園は受入園児の減少が避けられず、経営基盤の安定強化を目的に新年度からは認定こども園に移行することを決めた。

今年度法人活動の数値目標をいくつか確認しておきたい。まず当年度のサービス活動増減差額は185,409千円。前年度が189,431千円で約4,000千円の減。前年度比97.9%となった。主な要因としては、高齢者通所事業の利用者減による減収と物価高騰や不安定な国外情勢等に起因するエネルギー価格の高止まり、光熱費支出増などがあげられる。次に正職員の離職率は法人全体で5.6%。目標値の5%以下は達成出来なかったが、前年度の6.2%からは若干の改善が見られた。

そして、職員の生活水準を守り、各職員が安心して法人で働ける環境を整えるため4月から正職員給与月額7,000円の一律増額を決定した。パート職員は最低賃金改定時期の10月に一部職員のみ先行して時給40円の増額を実施し、ほとんどは正職員同様4月に40円増額を実施することにした。

言うまでもなく人財確保とその定着は、地域の急激な人口減少において最重要課題であり、法人の財務状況を見ながら効果的に人財への投資を推し進める必要がある。そこで次年度「職員の働きがいにつながる人事評価制度の見直し」や「人財確保のより効果的な手法」などを協議する部会を立ち上げ、福祉の担い手不足に対する諸問題に一層取り組むこととした。

次に項目別に報告

1. 会議の開催

(1) 評議員会

第1回(令和5年6月27日)

- 議案第 1号 令和4年度社会福祉事業収支決算の承認について
- 議案第 2号 令和4年度公益事業収支決算の承認について
- 議案第 3号 定款の一部変更について
- 議案第 4号 任期満了に伴う理事の選任について
- 議案第 5号 任期満了に伴う監事の選任について
- 議案第 6号 会計監査人の選任について

報告第 1号 令和4年度事業報告について

第2回(令和6年1月10日)書面

- 議案第 7号 旧うわまち南保育園(デイサービスセンター歩)の土地の寄付について

(2) 理事会

第1回(令和5年5月27日)

- 議案第 1号 令和4年度事業報告の承認について
- 議案第 2号 令和4年度社会福祉事業収支決算の承認について
- 議案第 3号 令和4年度公益事業収支決算の承認について
- 議案第 4号 「老人事業部門」運営規程の改訂について
- 議案第 5号 「養護・障がい事業部門」運営規程の改訂について
- 議案第 6号 規則規程の改訂について
- 議案第 7号 評議員選任・解任委員会の招集について
- 議案第 8号 定時評議員会の開催及び議案について

報告第 1号 明間保育園(下宇和保育園分園)の休止について

報告第 2号 高山保育園の保育所型認定こども園への移行について

報告第 3号 職務の執行状況について

第2回(令和5年6月27日)

- 議案第 9号 理事長の選定について
- 議案第 10号 常務理事及び常任理事の選定について
- 議案第 11号 規則規程の改訂について
- 議案第 12号 養護老人ホーム「三楽園」新築工事入札の実施について
- 議案第 13号 令和5年度社会福祉事業第1次収支補正予算(案)について

報告第 4号 運営協議会委員の選任について

第3回(令和5年9月12日)

- 議案第 14号 養護老人ホーム三楽園「旧二木生小学校解体工事」請負契約の変更について
- 議案第 15号 養護老人ホーム三楽園「新築工事請負契約」の承認について
- 議案第 16号 特別養護老人ホーム「松葉寮」多床室改修工事の入札実施について
- 議案第 17号 「老人事業部門」運営規程の改訂について
- 議案第 18号 規則規程の改訂について
- 議案第 19号 高山保育園の保育所型認定こども園への移行について

報告第 5号 職務の執行状況について

第4回(令和5年10月17日)書面

- 議案第 20号 特別養護老人ホーム「松葉寮」多床室のプライバシー保護の為の改修工事請負契約について
- 議案第 21号 養護老人ホーム三楽園「旧二木生小学校解体工事」請負契約の変更について

第5回(令和5年12月20日)

- 議案第 22号 旧うわまち南保育園(デイサービスセンター歩)の土地の寄付について
- 議案第 23号 令和5年度社会福祉事業第2次収支補正予算(案)について
- 議案第 24号 規則規程の改訂について
- 議案第 25号 評議員会の開催及び議案について

第6回(令和5年3月15日)

- 議案第 26号 下宇和保育園の分園(明間保育園)の事業休止の同意について
- 議案第 27号 認知症対応型通所介護事業所「かえで」の事業廃止の同意について
- 議案第 28号 「老人事業部門」運営規程の改訂について
- 議案第 29号 「児童事業部門」運営規程の改訂について
- 議案第 30号 規則規程の改訂について
- 議案第 31号 令和5年度社会福祉事業第3次収支補正予算(案)について
- 議案第 32号 令和6年度事業計画(案)について
- 議案第 33号 令和6年度社会福祉事業収支予算(案)について
- 議案第 34号 令和5年度愛媛県指導監査の実施結果について
- 議案第 35号 施設長の任免について

報告第 6号 予備費の使用について

報告第 7号 職務の執行状況について

(3) 監査会(令和5年5月22日・23日)

令和4年度、西予総合福祉会の決算について監査、承認を得た。(社会福祉事業及び公益事業)

(4) 評議員選任・解任委員会

第1回（令和5年6月7日）

議案第 1号 評議員の解任及び選任について

(5) 運営協議会（令和5年10月3日）

令和4年度 事業報告及び決算報告、各事業部事業概要報告をおこなった。

令和5年度：数値目標達成結果

(1) 定年退職者を除く正職員の離職率を5%以下とする。

目標	目標値	結果	R5	R4	R3
5%以下	5.0%以下	×	5.6%	6.2%	5.3%

(2) 労災保険対象事故の発生件数を前年度対比30%削減させる。

目標	目標値	結果	R5	R4	R3
前年比10%削減	16件以下	○	11	18件	15件

(3) 事業活動資金収支差額を前年度対比3%増加させる。

目標	目標値	結果	R5	R4	R3
前年比3%増加	333,253千円以上	×	84,740千円	323,547千円	403,940千円

(4) 一人当たりの時間外労働を月平均5時間以下とする。

目標	目標値	結果	R5	R4	R3
月平均5h以下	5h以下	○	4.2h	4.0h	3.9h

(5) 法人が指定する資格の取得者を15人以上とする。

目標	目標値	結果	R5	R4	R3
15人以上	15人以上	○	15人	11人	7人

(6) ストレスチェック組織分析結果の健康リスクを95以下とする。

目標	目標値	結果	R5	R4	R3
95以下	95以下	×	96	100	104

(7) ホームページ閲覧数を前年度対比20%増加させる。

目標	目標値	結果	R5	R4	R3
前年比20%増加	80,410以上	×	55,282	67,008	80,711

(8) 障がい者雇用率について法定雇用率(2.3%)を維持する。

目標	目標値	結果	R5	R4	R3
法定雇用率達成	2.30%以上	○	2.70%	3.21%	2.94%

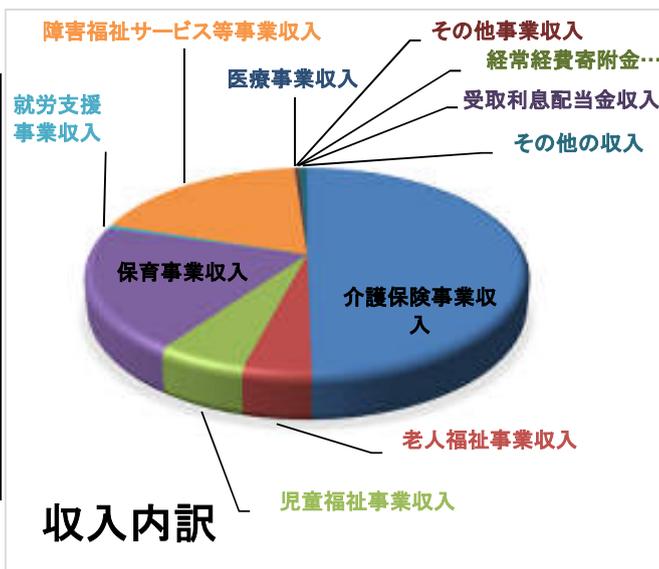
「法人決算概要」及び「施設別運営状況」は、別紙のとおり

I. 事業活動による収入・支出額

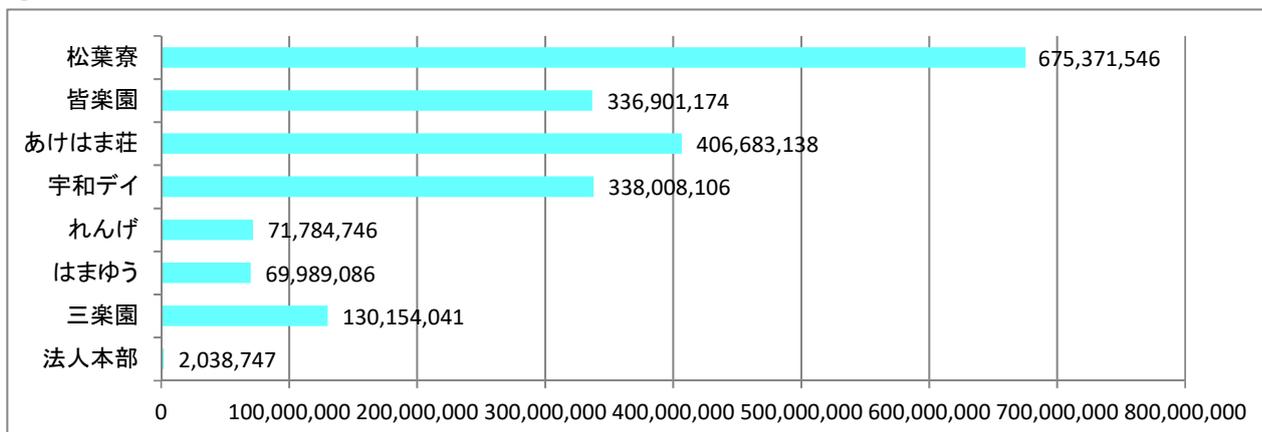
1. 事業活動による収入内訳

単位:円

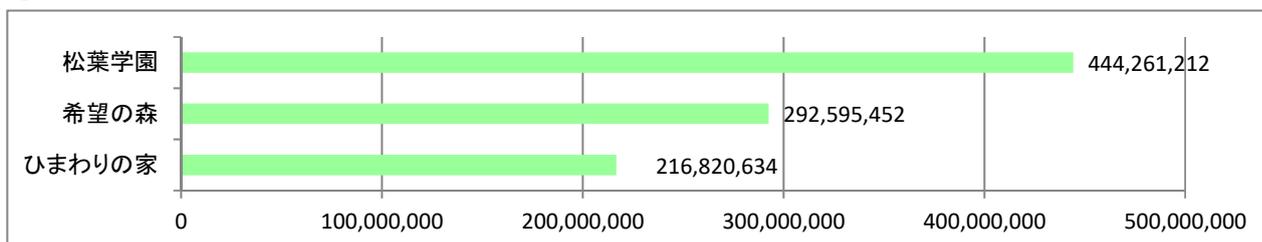
勘定科目	金額	率
介護保険事業収入	1,850,215,863	49.72%
老人福祉事業収入	162,892,245	4.38%
児童福祉事業収入	213,855,564	5.75%
保育事業収入	726,929,577	19.53%
就労支援事業収入	20,405,601	0.55%
障害福祉サービス等事業収入	706,387,265	18.98%
医療事業収入	4,686,881	0.13%
その他事業収入	6,990,580	0.19%
経常経費寄附金収入	2,768,330	0.07%
受取利息配当金収入	215,843	0.01%
その他の収入	25,918,257	0.70%
事業活動収入計	3,721,266,006	100.00%



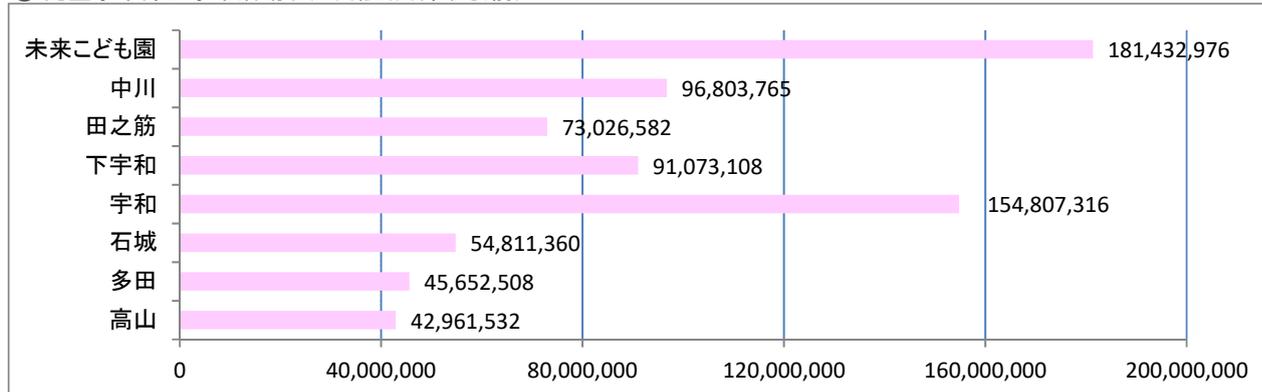
① 老人事業部・公益事業・法人本部の事業活動収入内訳(内部取引前)



② 養護・障がい事業部の事業活動収入内訳(内部取引前)



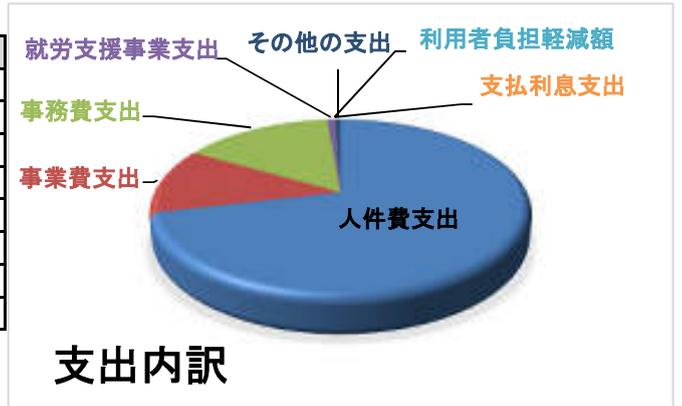
③ 児童事業部の事業活動収入内訳(内部取引前)



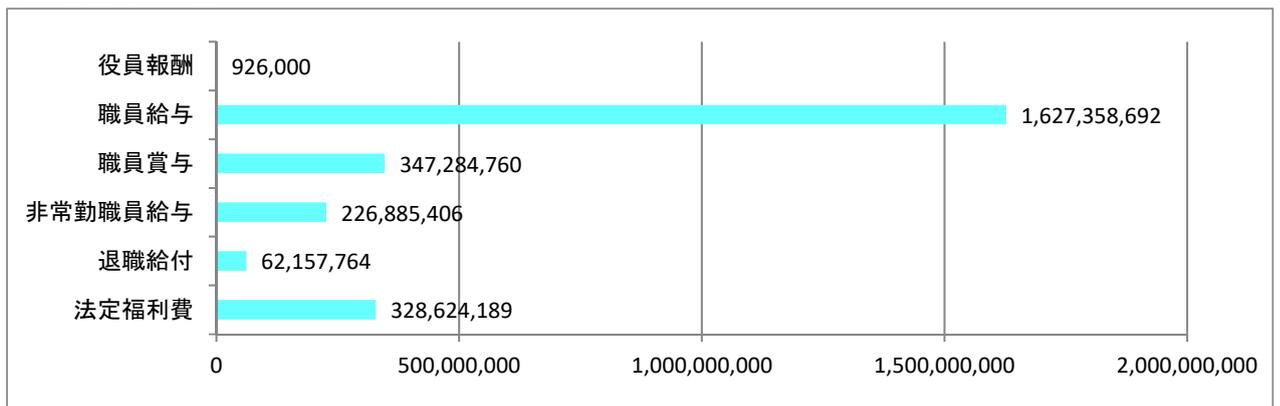
2. 事業活動による支出内訳

単位:円

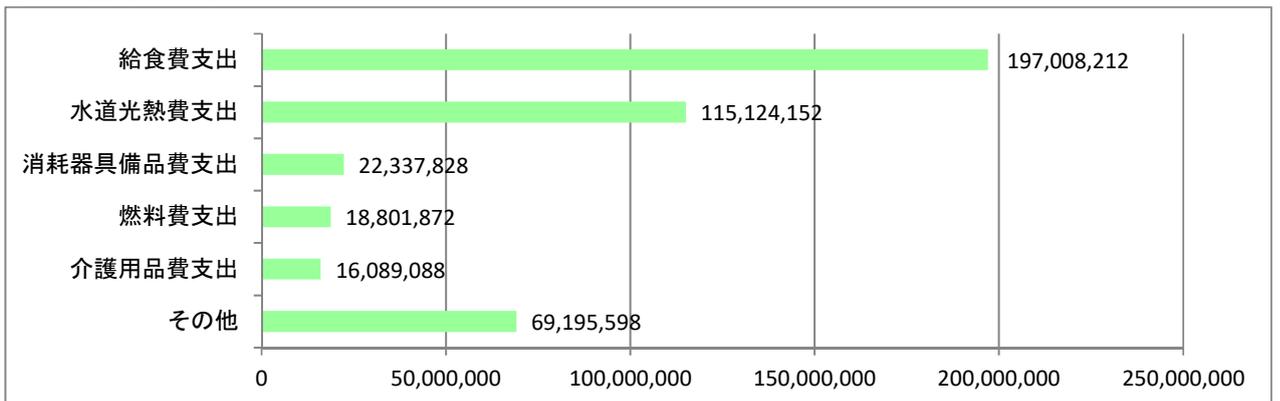
勘定科目	金額	率
人件費支出	2,593,236,811	71.31%
事業費支出	438,556,750	12.06%
事務費支出	555,863,491	15.29%
就労支援事業支出	26,408,575	0.73%
利用者負担軽減額	819,083	0.02%
支払利息支出	1,155,976	0.03%
その他の支出	20,399,210	0.56%
事業活動支出計	3,636,439,896	100.00%



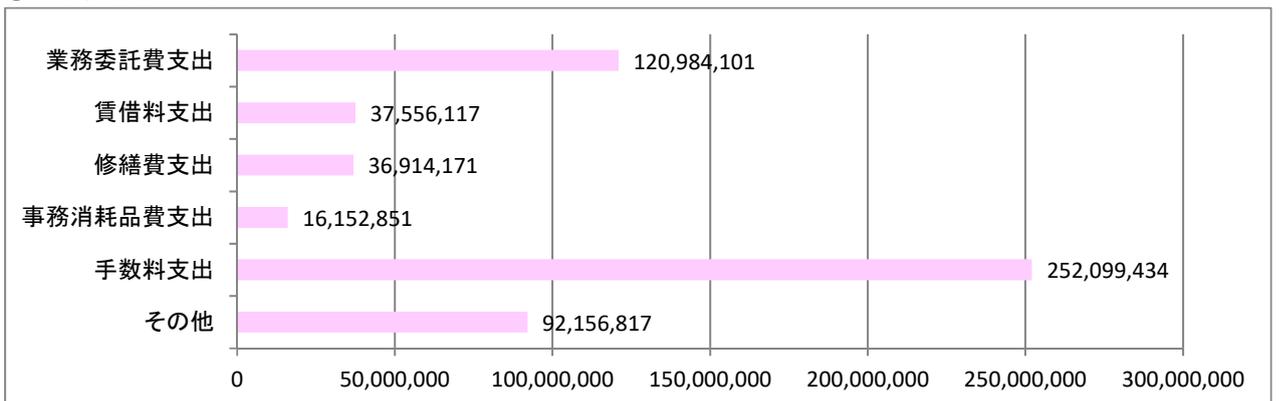
① 人件費支出の内訳



② 事業費支出の内訳

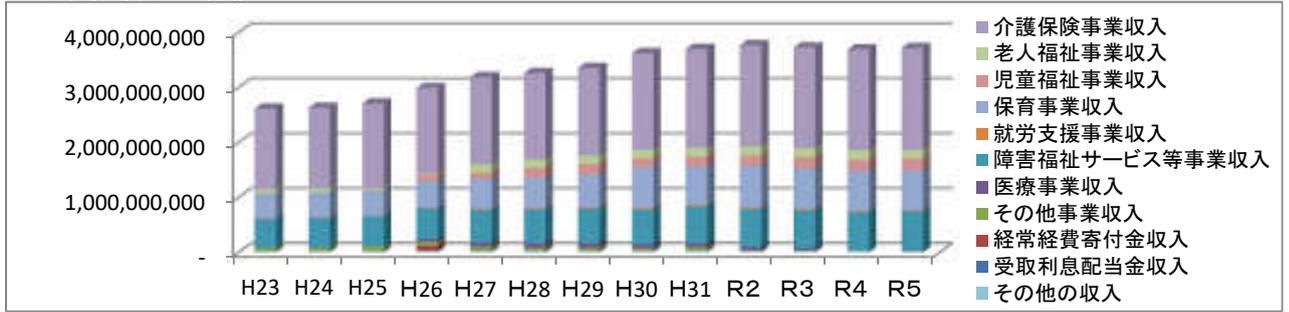


③ 事務費支出の内訳



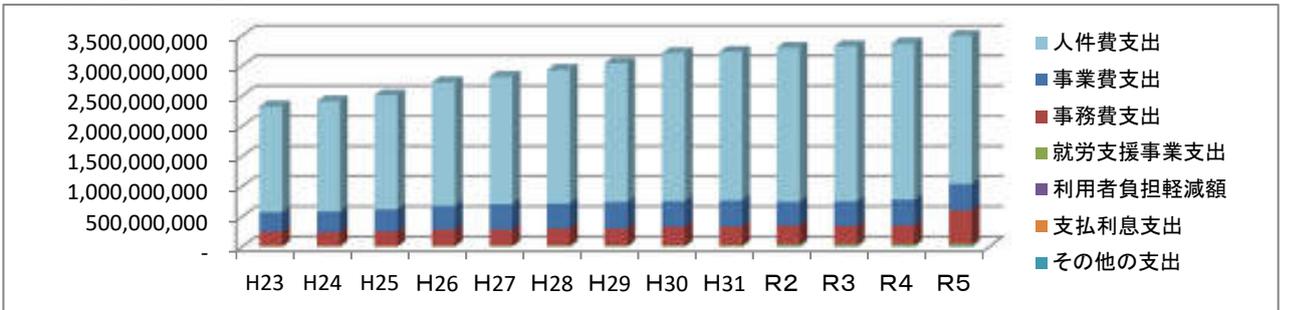
Ⅱ. 事業活動収支の推移(平成25年度より新会計基準適用 平成24年度以前は新基準に科目を振替て表示)

1. 事業活動収入の推移



勘定科目	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
介護保険収入	1,802,877,203	1,839,091,175	1,832,669,676	1,834,868,297	1,850,215,863
老人福祉事業収入	156,861,910	165,649,263	161,490,905	170,129,618	162,892,245
児童福祉事業収入	181,362,403	181,939,095	206,965,353	208,292,775	213,855,564
保育事業収入	702,216,978	763,611,806	738,006,582	729,114,632	726,929,577
就労支援事業収入	21,833,568	23,005,365	22,952,605	21,033,180	20,405,601
障害福祉サービス等事業収入	668,816,649	692,367,249	683,478,930	684,140,727	706,387,265
医療事業収入	67,825,214	57,487,367	40,655,396	4,934,739	4,686,881
その他事業収入	65,340,192	12,847,862	12,999,929	7,186,729	6,990,580
経常経費寄付金収入	1,366,887	2,885,900	2,163,000	1,523,960	2,768,330
受取利息配当金収入	265,805	270,502	207,063	205,618	215,843
その他の収入	35,941,027	30,139,260	28,654,174	35,543,973	25,918,257
事業活動収入計	3,704,707,836	3,769,294,844	3,730,243,613	3,696,974,248	3,721,266,006

2. 事業活動支出の推移



勘定科目	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
人件費支出	2,464,694,736	2,557,462,502	2,573,415,556	2,591,343,510	2,593,236,811
事業費支出	434,010,148	393,362,202	407,015,878	426,015,431	438,556,750
事務費支出	307,343,363	308,319,039	303,139,837	315,007,327	555,863,491
就労支援事業支出	25,549,398	27,569,812	27,808,790	27,394,667	26,408,575
利用者負担軽減額	1,372,325	1,381,449	1,001,456	500,145	819,083
支払利息支出	-	1,401,609	1,312,572	1,235,758	1,155,976
その他の支出	1,475,104	12,949,385	12,597,255	11,930,820	20,399,210
事業活動支出計	3,234,445,074	3,302,445,998	3,326,291,344	3,373,427,658	3,636,439,896

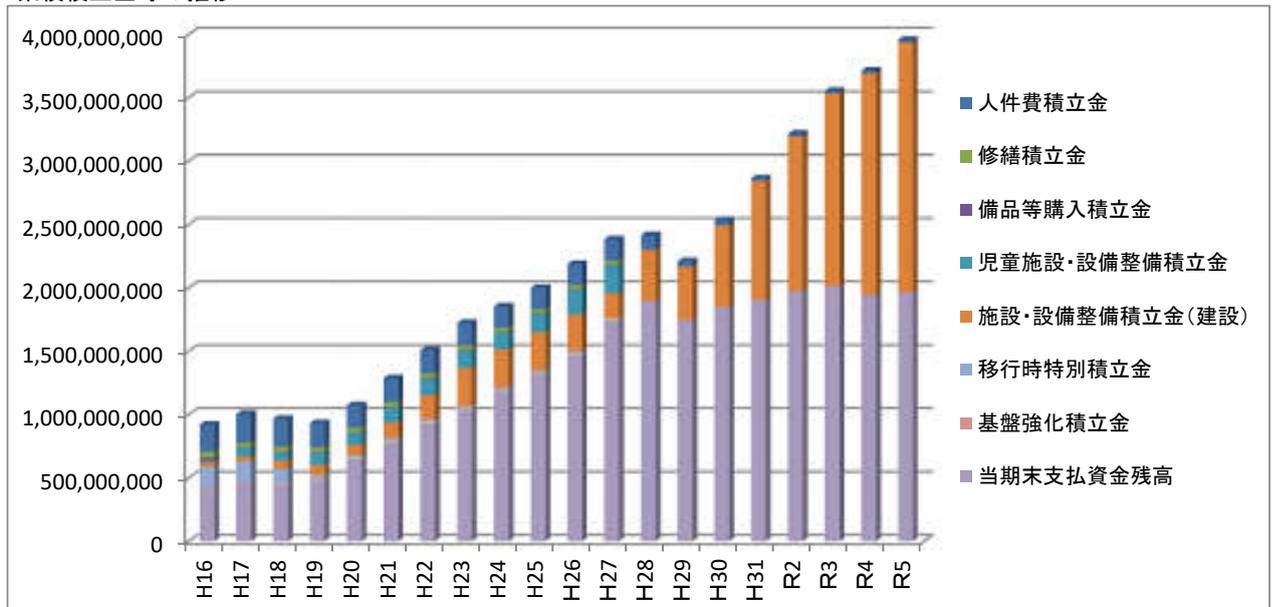
3. 事業活動収支差額の推移



勘定科目	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業活動収支差額	470,262,762	466,848,846	403,952,269	323,546,590	84,826,110

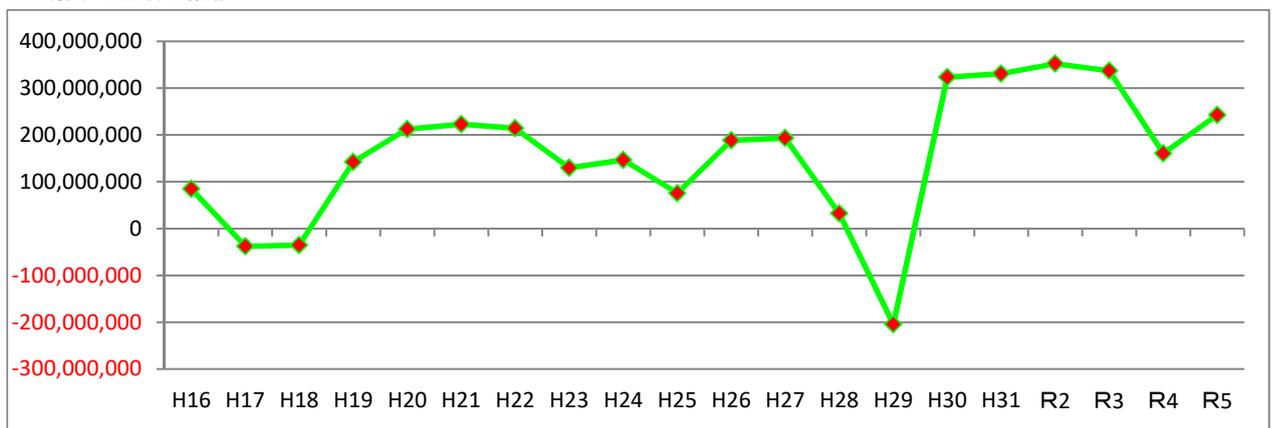
Ⅲ. 積立金等の推移(※平成28年度より児童施設・設備整備積立金と建設積立金を統合し施設・設備整備積立金とする)

1. 累積積立金等の推移



勘定科目	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
人件費積立金	20,790,000	20,790,000	20,790,000	20,790,000	20,790,000
修繕積立金	0	0	0		
備品等購入積立金	0	0	0		
児童施設・設備整備積立金	0	0	0		
施設・設備整備積立金(建設積立金)	939,520,219	1,222,220,219	1,518,220,219	1,749,865,219	1,973,820,219
移行時特別積立金	0	0	0		
基盤強化積立金	0	0	0		
福祉の里推進活動積立金	0	0	0		
当期末支払資金残高	1,904,791,874	1,974,454,925	2,015,664,584	1,944,667,427	1,963,446,924
合計	2,865,102,093	3,217,465,144	3,554,674,803	3,715,322,646	3,958,057,143

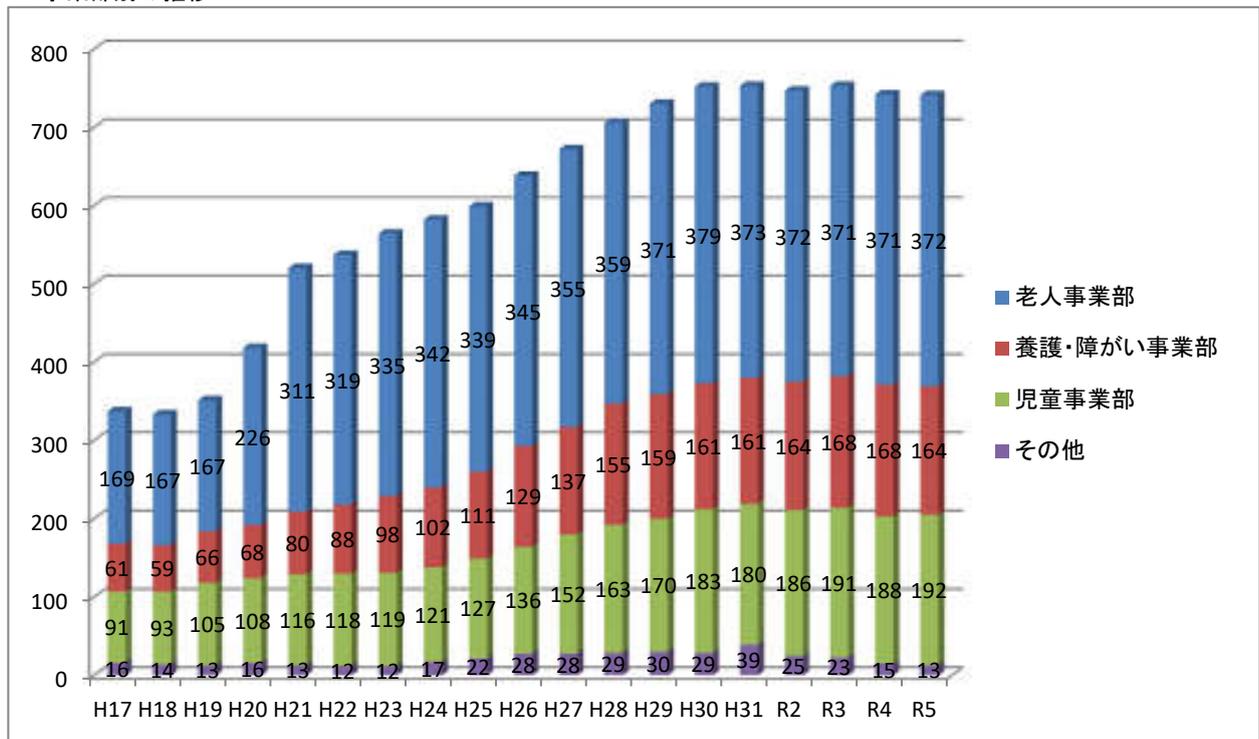
2. 当期資金差額の推移



勘定科目	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
当期資金差額	330,703,620	352,363,051	337,209,659	160,647,843	242,734,497

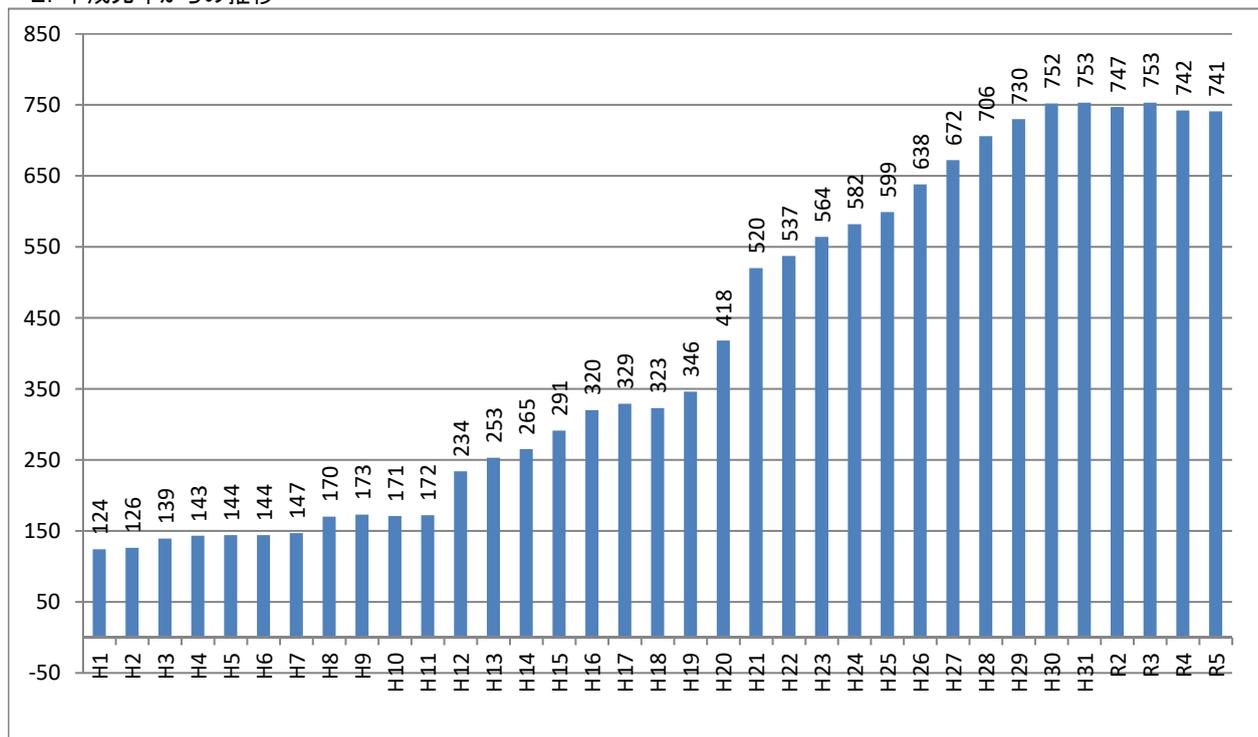
IV. 職員数の推移

1. 事業部別の推移



	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
老人事業部	379	373	372	371	371	372
養護・障がい事業部	161	161	164	168	168	164
児童事業部	183	180	186	191	188	192
その他	29	39	25	23	15	13
合計	752	753	747	753	742	741

2. 平成元年からの推移



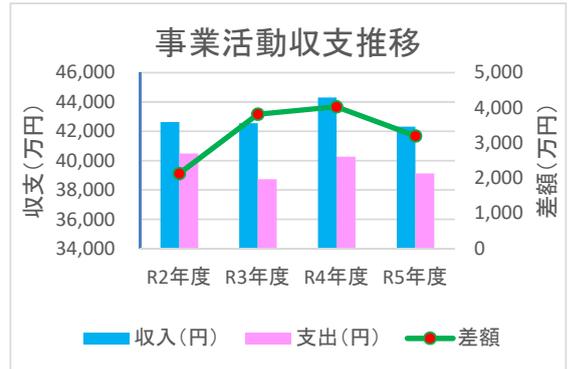
事業報告 : 松葉寮

事業活動収支推移

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
収入(円)	426,246,478	425,590,703	443,179,379	423,291,719
支出(円)	404,874,467	387,349,595	402,877,615	391,263,097
差額	21,372,011	38,241,108	40,301,764	32,028,622

○状況

- ・特養では、R4年度はコロナ等の補助金が約13,000,000円あり、除くとほぼ横ばいの収入となった。
- ・短期は、コロナ影響もなく、稼働率も上がることで収入も大幅に増やすことができた。



施設・設備整備積立金 : 8,000,000円

利用者推移

特 養	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者(人)	26,223	26,347	26,797	26,576
前年比(%)	99.9%	100.5%	101.7%	99.2%

短 期	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者(人)	6,211	5,740	5,529	6,502
前年比(%)	99.8%	92.4%	96.3%	117.6%

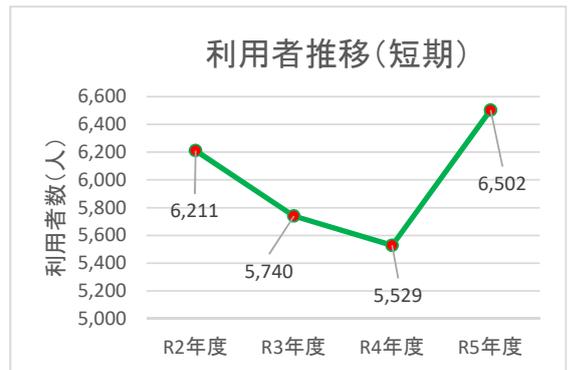
○状況

- ・特養は、昨年度と比べ入退所が多く(31名)出来る限り、短い期間での入所に努めるが、入院者もあり利用者数が若干減った。
- ・短期は、利用者、ご家族のニーズに答えるよう対応し、ロングでの利用者もあり、利用者数を増やすことができた。



施設整備

- ・多床室間仕切り工事
- ・送迎用ワゴン車更新(リース)
- ・ボイラー更新(リース)



人材育成・研修

- ・コロナにより中止していた研修会も徐々に開催されるようになり、出張等も行かせることができた。また、ZOOM等を活用した研修等も含め多くの職員に研修参加の機会が増えた。

トピックス

- ・5月技能実習生(ミャンマー)就労開始
- ・7月自宅で虐待による措置での利用者受入
- ・12月よりEPA介護福祉士候補生(フィリピン)就労開始
- ・EPA介護福祉士候補生、介護福祉士国家試験2回目不合格。結婚出産もあり、退職を予定

事業報告 : 開明の杜

事業活動収支推移				
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
収入(円)	246,590,466	247,630,410	247,608,087	252,081,183
支出(円)	218,836,150	214,120,880	231,147,748	227,969,513
差額	27,754,316	33,509,530	16,460,339	24,111,670

○状況

全ての事業について、利用者数は前年比では同程度か上昇しており、大きな修繕改修や購入もなかったが、人件費や物価の高騰もあり、思った程には活動収支は伸びなかった。

・開明の杜: 入院者も少なく利用者数は増加したが、平均要介護度は下がってしまった。地域の待機者の掘り起こしを今一度実施していく必要がある。介護ロボット補助金は不採択であったが、リースにより移乗用の介護ロボットも追加導入を継続して行った。

・短期入所: すぐに空床を埋める様に努め、稼働率は伸びた。サービスの質向上、リハビリ機能も活用し、安定した稼働率を維持していきたい。

・居宅介護支援事業所: 安定した運営ができているが、他事業所と比べると要支援の利用者の割合が非常に高い傾向にある。地域貢献は必要ではあるが、経営とのバランスを考えた運営を考えていきたい。

・ヘルパーステーション: 利用者数、更には身体介護の件数が伸びていない。職員配置に合った効率的なサービス提供が少しでも出来る様に業務の見直しも考えていきたい。

施設・設備整備積立金 : 4,000,000円

利用者推移				
特養	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者(人)	10,281	10,186	10,168	10,384
前年比(%)	99.7%	99.1%	99.8%	101.5%

短期	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者(人)	3,407	3,229	3,155	3,281
前年比(%)	104.7%	94.8%	97.7%	103.9%

居宅	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者(人)	2,628	2,624	2,606	2,632
前年比(%)	95.3%	99.8%	99.3%	101.3%

訪問介護	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者(人)	3,697	4,334	3,936	3,951
前年比(%)	114.5%	117.2%	90.8%	100.0%

○状況

・開明の杜: 入居者の平均要介護度は4.1。嘱託医との連携や平時から看護師や管理栄養士、機能訓練士とも相談しながら健康管理を行う事により入院者をかなり少なくする事が出来た。入退所自体も少なく、退所後の空床もスムーズに埋める様に努める事で最小限にする事ができ、稼働率が伸びた。

・短期入所: 法人内外の居宅支援事業所との連携を密に取りながら、緊急性の高い利用者に関しても臨機応変に対応し、可能な範囲での受入れを行う事で、安定した稼働率を確保する事が出来た。新型コロナに関しても罹患はあっても、大きな影響が出ない様に対応が出来た。

・居宅介護支援事業所: それぞれのケアマネが地域のニーズに応じた、利用者やご家族の意向に沿った相談支援を行っている。年度途中で閉鎖された居宅支援事業所からケアプランを引き継いだ事もあり、前年度よりも利用者数は増加した。

・ヘルパーステーション: 昨年度とほぼ同数の利用者数となった。工夫しながら市外へもサービス提供しており、今後はより効率化も考えた業務見直しが必要かと思われる。

施設整備

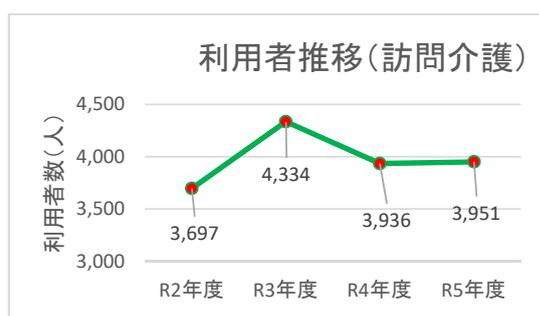
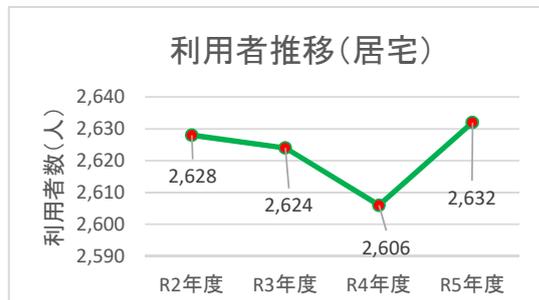
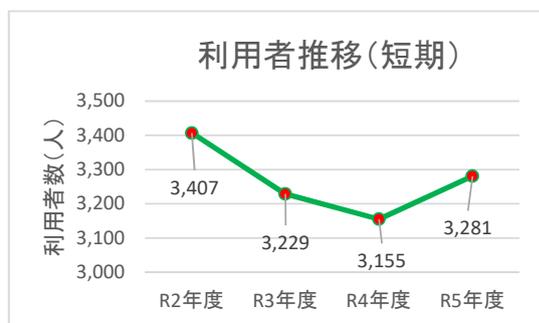
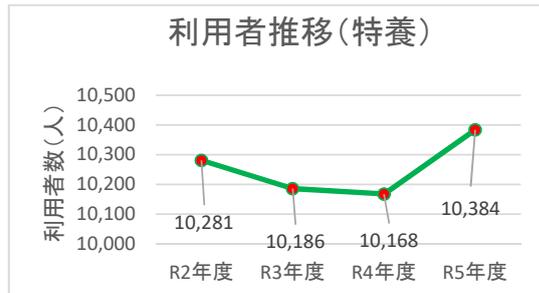
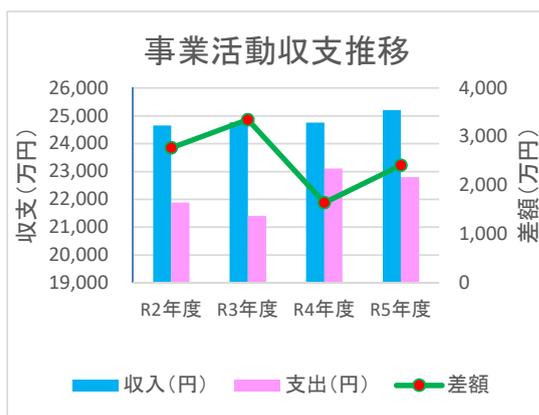
- ・ウォシュレットメンテナンス(2台取替、1台修繕) ・リビングTV1台
- ・食器(松花堂弁当容器)40セット ・移乗サポートロボットHug2台リース
- ・居宅陽だまり : 公用車(アルト、アルトバン)2台車種変更で更新リース
- ・ヘルパーステーションまつば : 原動機付自転車1台

人材育成・研修

- ・令和5年度『愛媛県介護ロボットプラットフォーム事業』のモデル事業所に選定され、1年間の伴走支援を受けた。今後の生産性向上に繋がる考え方、取り組み方についての勉強ができて有意義なものであった。
- ・新型コロナも5類となり外部研修も可能な範囲で参加し、ZOOM研修との併用により資格取得にも務めた。
- ・内部研修に関しては、義務化されている研修を中心に職員会の中で実施した。

トピックス

- ・短期やヘルパー、居宅の利用者や職員が新型コロナに感染することはあっても、施設内で感染症が拡がることはなく、施設運営に大きな影響は出なかった。
- ・見守り機器や介護ロボットの使用に関しては、職員がかなり慣れてきて適した利用者に対しての使用方法も浸透してきている。事業部全体でノーリフトの先進地への視察も参加している。今後も焦らずに出来る事から話合った上で、業務改善を行っていき



事業報告 : 皆樂園

事業活動収支推移

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
収入(円)	327,692,886	325,613,031	336,019,190	336,901,174
支出(円)	298,175,113	309,735,647	320,812,765	307,595,563
差額	29,517,773	15,877,384	15,206,425	29,305,611

○状況

・短期は昨年度よりも稼働率は上がったが、支出増により大幅な黒字まではいかなかった。特養も黒字ではあるが支出増となり収支差額は減、通所は人員削減による人件費の減、さらに、稼働率も健闘したが収支はほぼ同程度に留まった。結果、拠点としてはかなり厳しい事業活動収支差額となった。

・収入は、特養は長期入院を防ぐ事ができず苦戦した。通所ではケアマネや短期と連携を取りながら効率よく稼働したが、突発的な感染症による団体欠席もあり思う様には稼働率を上げる事ができなかった。短期でも感染症の影響は多少出たが、ロングショートや特養の空床も活用し、稼働率が安定した。支出は人件費の増額、光熱費や消耗品の高騰、施設備品の更新、老朽化による修繕や買換え、実習生の住環境整備などがあり、収支差額への影響が大きかった。

施設・設備整備積立金 : 10,000,000円

利用者推移

特養	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者(人)	17,811	17,974	17,797	17,700
前年比(%)	99.0%	100.9%	99.0%	99.5%

短期	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者(人)	2,689	2,567	2,832	3,091
前年比(%)	100.9%	95.5%	110.3%	109.1%

通所	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者(人)	4,394	4,135	4,273	4,629
前年比(%)	104.1%	94.1%	103.3%	108.3%

○状況

・稼働率は特養97.0%、短期84.5%、通所82.5%であった。
 ・特養に関しては、長期入院や退所入所の対応が少し遅れた場面もあったが前年比よりやや増加となった。後半は入院の空床を短期で活用するなど工夫を行った。短期はロングショートの活用により、ある程度の稼働率は確保できた。通所は、今年もコロナの影響で施設からの団体キャンセル等もあり稼働率の低下を防げなかった。事業所連携を密に取り、入院や短期入所になった場合の枠を活用するなど今後も工夫をして稼働率に拘った対応をしていきたい。

施設整備

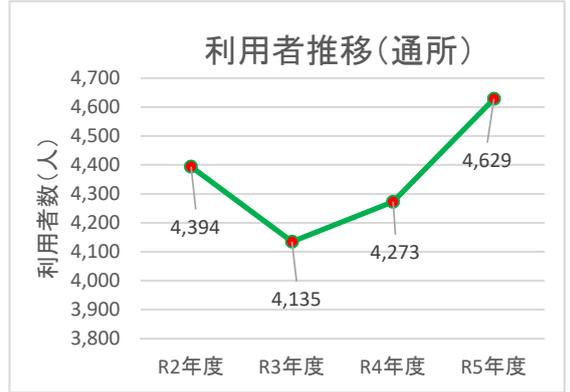
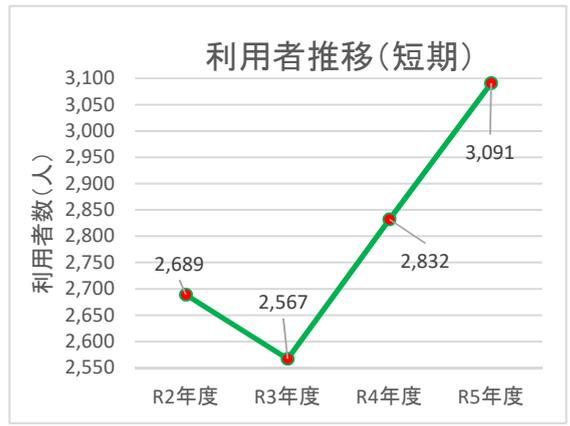
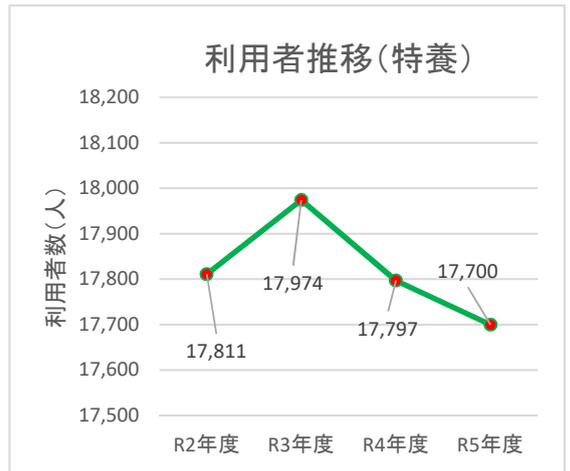
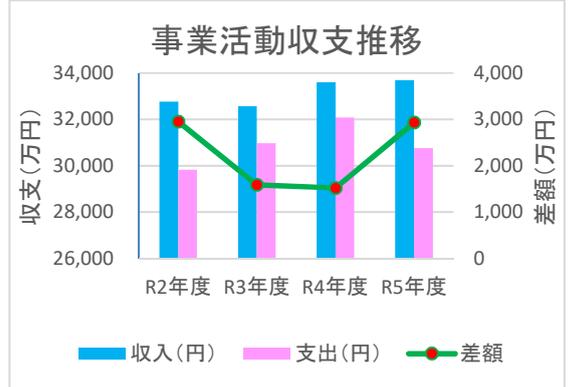
- ・見守りカメラ(ナースコール) ・ベッドキャスター交換12台分
- ・介護式多機能車椅子(座面クッション)9台 ・リビング用TV3台
- ・浄化槽チェックプレート修繕 ・クライアントPC3台
- ・自動水栓一体型電気温水器3台

人材育成・研修

・外部研修は、少しずつであるが実施出来た。施設内研修は、動画視聴など行いながら職員の負担が過度にならないよう配慮しながら実施した。
 ・大王製紙のアテントマイスター研修は継続して力を入れている。
 ・義務化する認知症基礎研修、実務者研修、介護福祉士等に積極的に受講、受験して資格取得に繋がっている。技能実習生も日本語検定N3試験1名、技能実習評価試験(専門級)2名が合格した。

トピックス

・現在は土木事務所による施設南側の急傾斜地崩壊防止工事(第3期)が行われている。5月には皆江区长等の同意の下で桜の木も伐採した。
 ・3年間就業された技能実習生(8期生)1名が退職して完全帰国。今後も計画的に受け入れしていく予定。
 ・3月から見守り機器を全室に導入。スマホ等との連動があり、メーカーの導入支援を受けながら稼働しており、利用者の安全確保はもちろんの事、少しでも業務改善、生産性向上にも繋げていきたい。



事業報告 : あけはま荘

事業活動収支推移

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
収入(円)	434,268,753	441,955,396	435,403,272	406,683,138
支出(円)	391,141,364	394,334,034	395,240,777	395,435,521
差額	43,127,389	47,621,362	40,162,495	11,247,617

○状況

コロナウイルスが5類に移行したものの、陽性者が出ると短期入所等の受入を中止せざるを得なかった。夏には施設内感染、冬にはインフルエンザ等での在宅待機者が多く新規入所者や短期入所者の受け入れを制限。また、退所者も例年より多く同時期に退所が重なるなど入所までの期間における空所日が増加した。年間を通じて満所日は1週間程度だった。施設も老朽化による修繕が続き、その都度修繕を行っている。全事業において稼働率の低下が目立ち、収入も減少している。

施設・設備整備積立金 : 9,000,000円

利用者推移

特 養	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者(人)	30,576	30,494	29,727	30,062
前年比(%)	99.5%	99.7%	97.5%	101.1%

短 期	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者(人)	1,739	1,775	1,549	1,369
前年比(%)	99.4%	102.1%	87.3%	88.4%

通 所	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者(人)	4,306	4,660	3,996	2,558
前年比(%)	98.3%	108.2%	85.8%	64.0%

○状況

短期入所・通所といずれも前年より大幅な減少となった。特養の入所基準に該当する対象者数の減少も、過疎地域の施設を敬遠する風潮の現れと推測している。待機者数の減少はもとより、明浜地区在住の待機者数は少なく、明浜在住者であっても宇和町等の施設を希望する方も少なくない。ショートステイやデイサービスの利用数に関しては、サービス内容の見直しを行い、居宅介護支援事業所などとの連携を深め地域ニーズ把握に努めたいと考えている。人口推移等のデータ分析も行いながら、設備投資を含め検討する。

施設整備

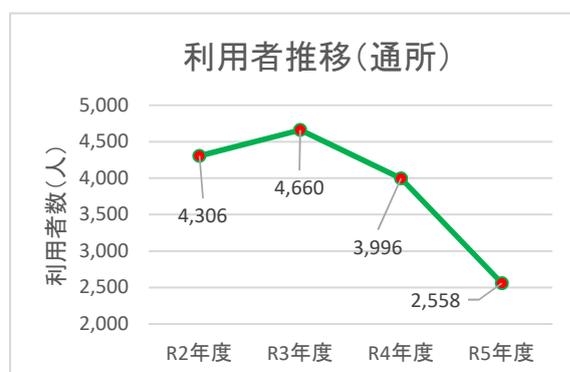
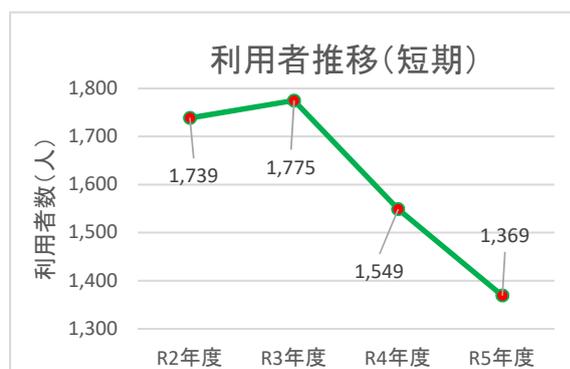
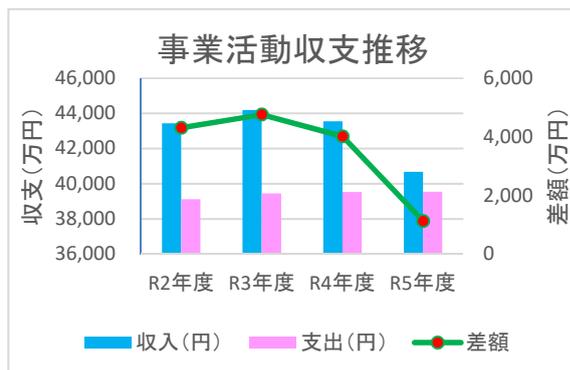
- ・介護用ベッド5台 ・ティルト式車いす3台 ・普通型車いす
- ・家用発電機バッテリー取替
- ・新館給湯管修繕 ・旧館屋上防水改修
- ・厨房機器部品交換

人材育成・研修

- ・令和5年度「愛媛県介護ロボットプラットフォーム事業」のモデル事業所として伴走支援を受けた。
- ・外部への研修参加、事業所内での研修会を計画的に実施した。

トピックス

- ・コロナウイルスの5類移行も、(インフルエンザを含め)自宅待機等で業務が圧迫されることもあったが、集団感染までには至らなかった。
- ・建物、設備面では老朽化(経年劣化)を原因とする大規模な修繕が必要となる事案が次々と増えてきた。
- ・介護ロボット、ICTの導入も継続的に進めている。
- ・抑うつ、ストレス性の診断を受ける職員が3件あり、個々に対応。



事業報告 : 宇和デイ

事業活動収支推移

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
収入(円)	312,686,578	299,991,149	284,787,624	338,008,106
支出(円)	293,543,142	297,185,206	297,591,075	355,692,792
差額	19,143,436	2,805,943	△ 12,803,451	△ 17,684,686

○状況

依然として宇和デイグループの収支状況は厳しい。主な原因は、新型コロナウイルス感染症による利用控えの継続、独居生活を送る利用者の施設入所や入院増などが挙げられる。グループ事業所で共通した問題点はヘビーユーザーの利用中止。新規利用者は比較的介護度が低く利用回数も少ないことから運営面でマイナス要因となる。利用者一人当たりの単価が上がるまでには時間を要するため在宅支援事業所等関係機関との連携、サービス内容の工夫など検討していきたい。

利用者推移

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者(人)	34,093	35,335	34,501	38,473
前年比(%)	98.4%	103.6%	97.6%	111.5%

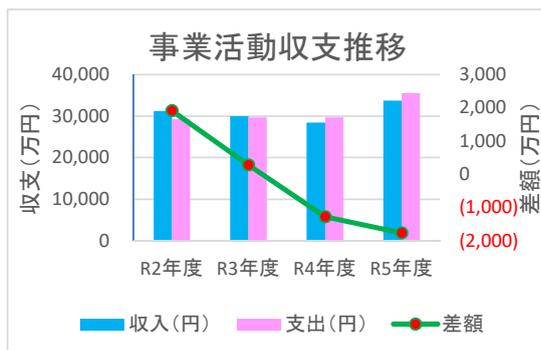
○状況

宇和デイグループの利用者数は、前年度比111.5%と伸びているが、これは令和5年度よりGH蘭の数字が上乘せとなったため。従来の7施設と比較すると前年度比84.4%、延べ人数で約6,000名減少している。新型コロナウイルスの影響、独居生活者の施設入所等による利用中止が原因。新規利用者の契約は取り付けているものの当初は一般的に利用回数が少ないため施設のファンになってもらえるよう信頼獲得にも力を入れたい。

事業所別 事業活動収支推移

※令和3年度: 通所型サービスA陽より事業開始

福祉の里	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
収入(円)	114,227,967	105,114,700	85,038,169	78,536,789
支出(円)	95,577,692	98,657,374	94,379,842	82,463,710
差額	18,650,275	6,457,326	△ 9,341,673	△ 3,926,921
陽より	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
収入(円)	—	3,401,207	5,137,091	4,829,040
支出(円)	—	8,284,513	8,815,007	7,100,874
差額	—	△ 4,883,306	△ 3,677,916	△ 2,271,834
ななほし中川	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
収入(円)	49,824,631	41,669,849	41,361,645	39,786,932
支出(円)	44,584,422	42,681,720	43,015,605	44,222,875
差額	5,240,209	△ 1,011,871	△ 1,653,960	△ 4,435,943
うつのみやさんの家	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
収入(円)	38,833,743	38,220,841	39,114,969	38,478,313
支出(円)	39,660,472	35,637,219	35,261,470	35,632,467
差額	△ 826,729	2,583,622	3,853,499	2,845,846
あんしんの家	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
収入(円)	51,440,375	48,108,374	46,581,659	40,257,766
支出(円)	46,764,265	47,499,483	43,901,735	42,170,434
差額	4,676,110	608,891	2,679,924	△ 1,912,668
歩(通所)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
収入(円)	39,249,734	41,515,284	38,195,048	37,188,391
支出(円)	46,188,280	42,610,707	38,145,890	36,636,140
差額	△ 6,938,546	△ 1,095,423	49,158	552,251
歩(訪問看護)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
収入(円)	19,110,128	21,960,894	29,359,043	28,015,918
支出(円)	20,768,011	21,814,190	34,071,526	32,635,819
差額	△ 1,657,883	146,704	△ 4,712,483	△ 4,619,901
蘭	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
収入(円)	—	—	—	70,914,957
支出(円)	—	—	—	74,830,473
差額	—	—	—	△ 3,915,516



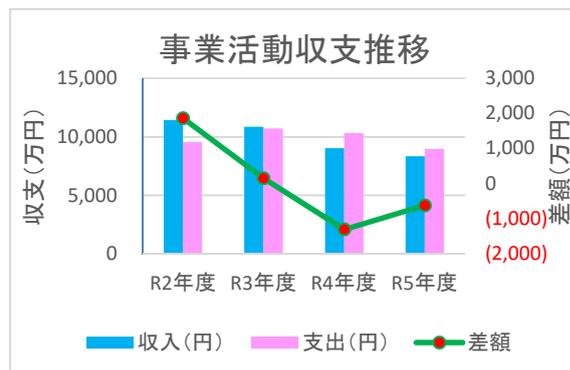
事業報告 : 福祉の里 G

事業活動収支推移

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
収入(円)	114,227,967	108,515,907	90,175,260	83,365,829
支出(円)	95,577,692	106,941,887	103,194,849	89,564,584
差額	18,650,275	1,574,020	△ 13,019,589	△ 6,198,755

○状況

利用者数の減少で収入も大幅にダウンした。人件費の見直しで支出を抑えたものの2年連続の支出超過となった。そのため新年度から、更なる人件費の見直しを図り安定した運営を目指す。



利用者推移

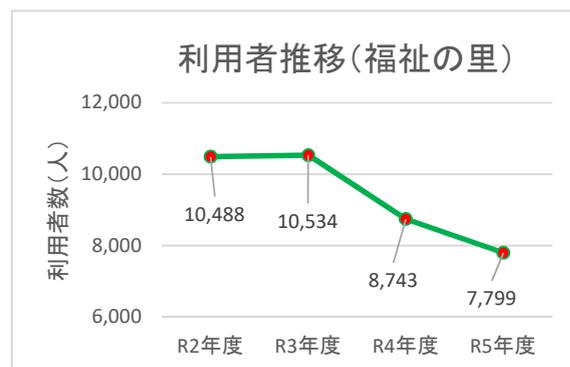
福祉の里	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者(人)	10,488	10,534	8,743	7,799
前年比(%)	116.8%	100.4%	83.0%	89.2%

陽より	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者(人)	-	860	1,295	1,205
前年比(%)	-	-	150.6%	93.1%

○状況

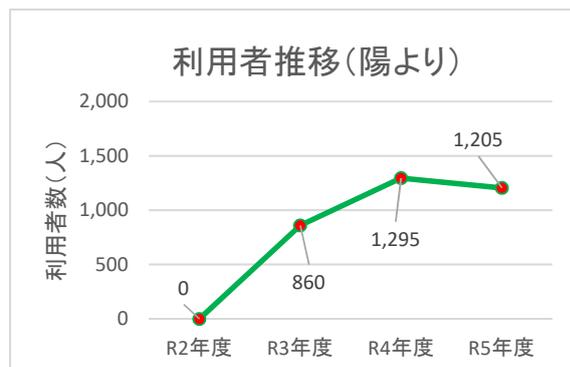
利用者の減少が続いている。一時期と比較し落ち着きを見せ始めたとはいえ新型コロナウイルスの影響は数字に表れており、利用見合わせへの慣れに加え、重度化による施設入所、死去による利用中止などが主な原因と考えている。

新年度より休業日を金・日曜日の2日間とした。利用者数が少ない金曜日を休むことで安定した利用者確保を目指す。



施設整備

- ・送迎車両パワーリフト修繕
- ・静養室設置エアコン更新



人材育成・研修

- ・法人内各種研修
- ・新型コロナウイルス感染防止を目的にグループ全体会は控え施設毎の研修を実施。

トピックス

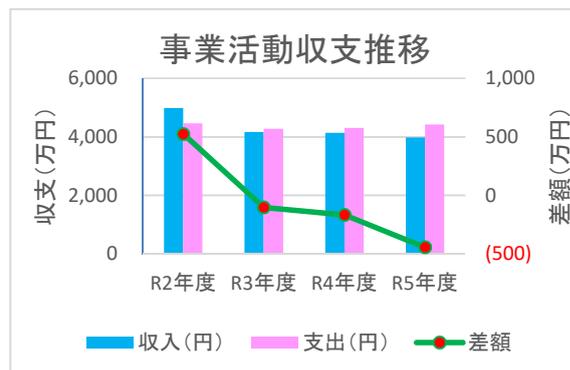
事業報告 : ななほし中川

事業活動収支推移

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
収入(円)	49,824,631	41,669,849	41,361,645	39,786,932
支出(円)	44,584,422	42,681,720	43,015,605	44,222,875
差額	5,240,209	△ 1,011,871	△ 1,653,960	△ 4,435,943

○状況

3年連続の支出超過。原因は平均介護度の低さ、利用回数が少ない利用者の増加と考えている。特に短期入所の数字が顕著である。重度化で利用中止となった馴染みの利用者が多く登録者の入れ替わりが進んでいる。



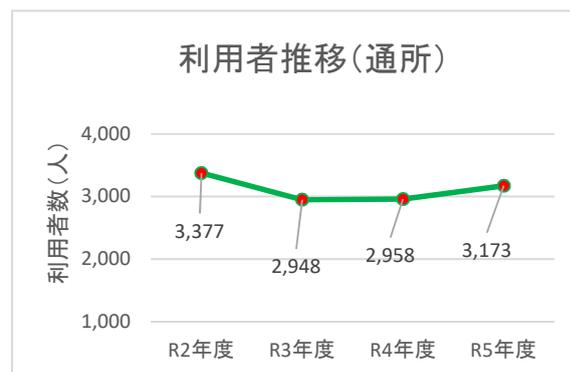
利用者推移

通所	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者(人)	3,377	2,948	2,958	3,173
前年比(%)	90.4%	87.3%	100.3%	107.3%

短期	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者(人)	1,382	1,302	1,322	1,088
前年比(%)	103.9%	94.2%	101.5%	82.3%

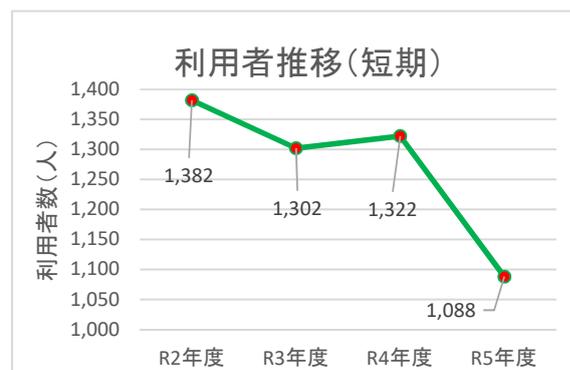
○状況

令和5年度において通所介護の利用者数は伸びている。新規契約数の伸びと一人当たりの利用回数の増加がみられる。一方で短期入所の実績が減少。利用頻度の高い利用者の施設入所等による利用中止が目立った。関係機関との連携に努めたい。



施設整備

特になし



人材育成・研修

- ・法人内各種研修
- ・新型コロナウイルス感染防止を目的にグループ全体会は控え施設毎の研修を実施。

トピックス

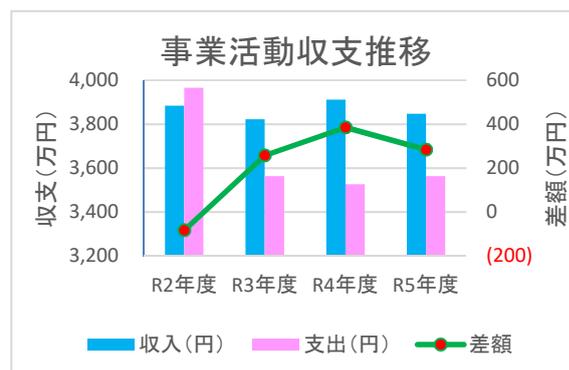
事業報告 : うつのみやさんの家

事業活動収支推移

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
収入(円)	38,833,743	38,220,841	39,114,969	38,478,313
支出(円)	39,660,472	35,637,219	35,261,470	35,632,467
差額	△ 826,729	2,583,622	3,853,499	2,845,846

○状況

前年度と比べ収入が微減したが、安定した稼働率の確保により物価上昇のおおりを最低限に抑え収入超過をみた。職員も前年度と同数で運営し経費増を抑えられている。今後も入所者の健康管理に努めるとともに迅速な受入れ体制の構築で安定した運営を継続したい。

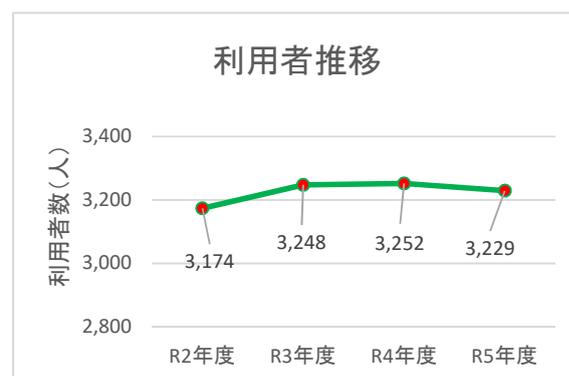


利用者推移

G H	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者(人)	3,174	3,248	3,252	3,229
前年比(%)	100.2%	102.3%	100.1%	99.3%

○状況

前年度比99.3%の利用者数だったが、稼働率は98.0%と高い水準で推移した。直近の待機者数が15名。入所申し込みも毎月1~2件は受付けている状況であり今後も地域のニーズに応えられる状況にある。



施設整備

・リビングの空調更新。

人材育成・研修

・法人内各種研修
 ・新型コロナウイルス感染防止を目的にグループ全体会は控え施設毎の研修を実施。

トピックス

・1名の職員が体調を崩し療養中。介護現場への復帰が見通せない状況が気がかりな点である。

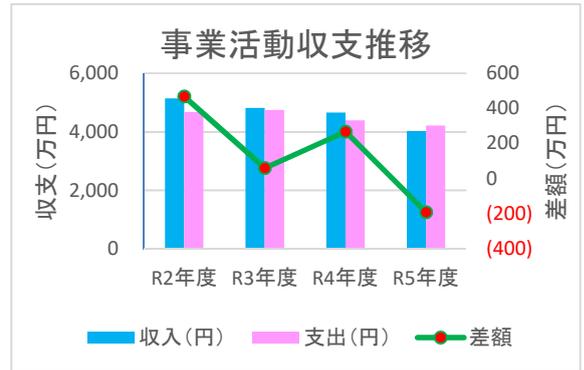
事業報告 : あんしんの家

事業活動収支推移

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
収入(円)	51,440,375	48,108,374	46,581,659	40,257,766
支出(円)	46,764,265	47,499,483	43,901,735	42,170,434
差額	4,676,110	608,891	2,679,924	△ 1,912,668

○状況

令和5年度は支出超過となった。理由はヘビーユーザーの減少。通所介護では週複数回、短期入所においても毎週定期的に受け入れていた利用者が複数名登録抹消に至ったことが痛手となった。利用中止の主な理由は特養入所や世界である。新規契約数は年間約20件強を数えたが、一時的な短期入所や週1回程度のデイサービス利用といったケースが目立ち収入増加には繋がらなかった。



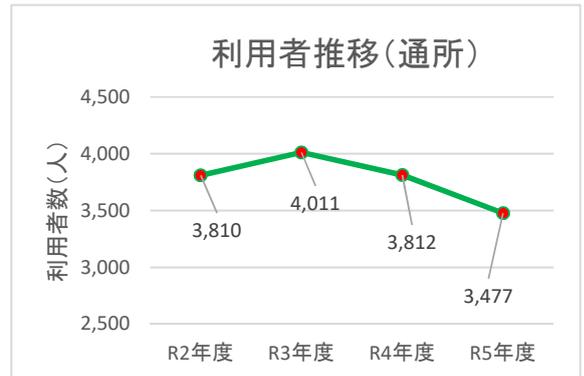
利用者推移

通所	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者(人)	3,810	4,011	3,812	3,477
前年比(%)	104.6%	105.3%	95.0%	91.2%

短期	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者(人)	1,158	951	964	703
前年比(%)	95.9%	82.1%	101.4%	72.9%

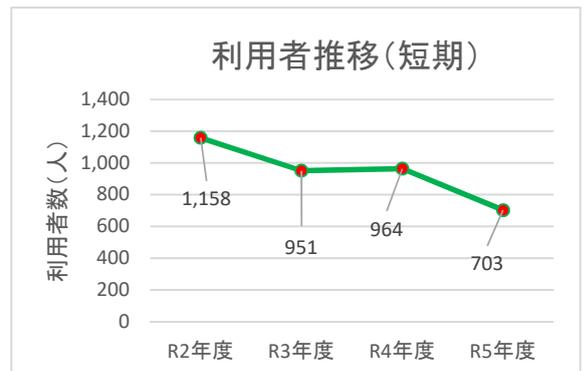
○状況

馴染みの利用者が減少し、利用頻度の低い新規利用者が増加している。今後、介護度の変化に伴うニーズの高まりを想定し、より信頼を得られるよう、利用回数増加への柔軟な対応や新規契約の獲得に努めたい。



施設整備

特になし



人材育成・研修

- ・法人内各種研修
- ・新型コロナウイルス感染防止を目的にグループ全体会は控え施設毎の研修を実施。

トピックス

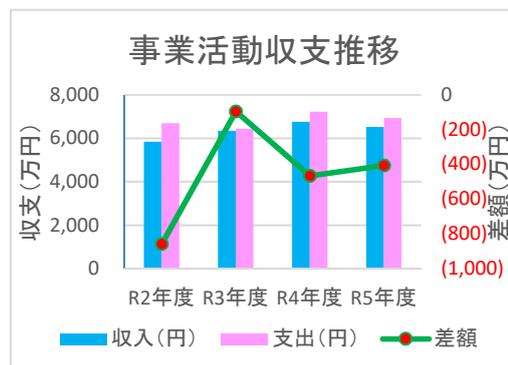
事業報告 : 歩

事業活動収支推移

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
収入(円)	58,359,862	63,476,178	67,554,091	65,204,309
支出(円)	66,956,291	64,424,897	72,217,416	69,271,959
差額	△ 8,596,429	△ 948,719	△ 4,663,325	△ 4,067,650

○状況

前年度比、収入96.5%、支出95.9%となり減収となったが、支出を抑えられたことで昨年度差額よりマイナスを抑えることができた。デイはプラスだったが、訪看のマイナス分をカバーできなかった。訪看の看護件数が依然として少なく、伸び悩んでいるため、抜本的な対策が必要と考える。



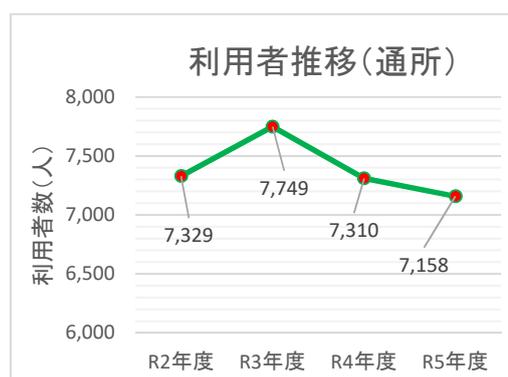
利用者推移

通所	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者(人)	7,329	7,749	7,310	7,158
前年比(%)	89.1%	105.7%	94.3%	97.9%

訪問看護	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者(人)	3,378	3,732	4,845	4,593
前年比(%)	568.7%	110.5%	129.8%	94.8%

○状況

通所に関して、前年度比97.9%。令和5年5月よりコロナが5類に分類されたことにより、疎らではあるが罹患者の増加、加えてインフルエンザ流行により、全体的に若干稼働が低下したと考えられる。訪看は新規利用獲得しているが、ターミナルケアで契約終了となることもあり、増減を繰り返している。

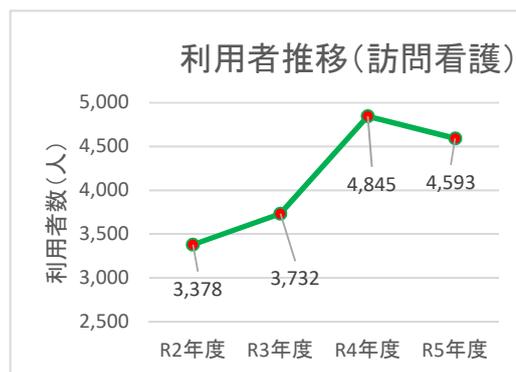


施設整備

特になし

人材育成・研修

日中の法人内研修は、内容について精査し、可能な範囲で参加するようにしているが、現状参加困難。施設内研修会は必要な内容を年間計画立てて、職員会と合わせて開催するようにしている。



トピックス

通所・看護ともに稼働が若干低下しているが、コロナ等感染症の罹患者を増やすことなく善処できている。支出を抑えることで、収入減以上のマイナス差額を抑えることができた。健全経営を目指すにあたり、訪看の稼働改善に何らかの対策を検討実施していく必要がある。新規を受け入れる為、居宅などへ働きかけを行いつつ、業務の効率化を図っていく。

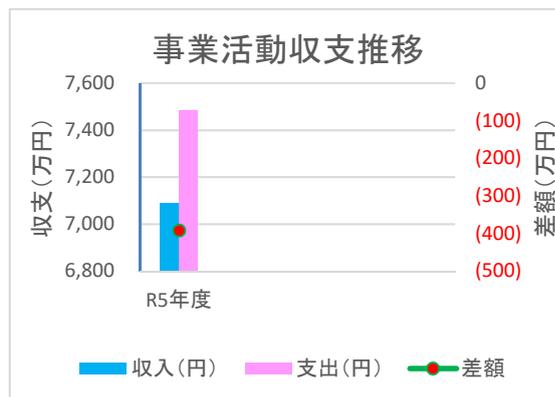
事業報告 : 蘭

事業活動収支推移

	R5年度			
収入(円)	70,914,957			
支出(円)	74,830,473			
差額	△ 3,915,516			

○状況

令和5年度より事業譲渡を受け運営を開始した。年間を通し入所者の重度化が進んだ。その結果、体調を崩し入院に至るケースも増え稼働率が90%前後に低下。比例して収入が落ち支出超過の原因と考えている。入所者の入れ替わりにより徐々に稼働率がアップしていることから現状維持を目指したい。また、入退所時の空床期間短縮を目指し関係機関との連携強化を図っていきたい。



利用者推移

G H	R5年度			
利用者(人)	6,148			
前年比(%)	-			

○状況

収支状況にも記したが入院者の増加が実績に反映した。その後は特養入所、死亡等の理由で入所者が入れ替わり空床のリスクが軽減していることから日常の体調管理に努め稼働率維持向上を目指したい。



施設整備

- ・リビング空調の更新

人材育成・研修

- ・法人内各種研修
- ・新型コロナウイルス感染防止を目的にグループ全体は控え施設毎の研修を実施。

トピックス

令和5年4月より法人の施設として運営開始。

事業報告 : ケアハウスれんげ

事業活動収支推移

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
収入(円)	72,064,278	69,230,946	76,044,625	71,784,746
支出(円)	63,386,384	63,532,910	66,719,857	64,454,358
差額	8,677,894	5,698,036	9,324,768	7,330,388

○状況

- ・原因:入院の日数が増加したことにより、稼働率が98.0%と前年度(98.6%)を下回ることになった。
- また、特定利用のうち要介護者の割合(59%)が前年度(61%)と比較して減少し、要支援者の割合は前年度と比較して増加した。
- ・動向:電気代、燃料代をはじめ物価高騰による影響があり、運営コストが上昇した。
- ・積立金等:なし

利用者推移

軽費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者(人)	10,842	10,595	10,794	10,758
前年比(%)	100.6%	97.7%	101.9%	99.7%

○状況

- ・原因:年間の入院延日数が178日と前年度(85日)と比較し、2倍程度に増加したことが稼働率の低下につながった。ただ、入居までの空室期間が27日間(前年度71日間)であり、1件当たりの空室期間が6.8日と前年度(14.2日)より2分の1程度に短縮されている。
- また、退居者の4名(前年度5名)については、2名は入院の継続、1名は特養への入所、1名は自宅への退居(看取り希望)となっている。
- ・ニーズ等:待機者として、前年度は約100名程度で推移していたが、今年度は約130名の登録があり増加傾向にある。

施設整備

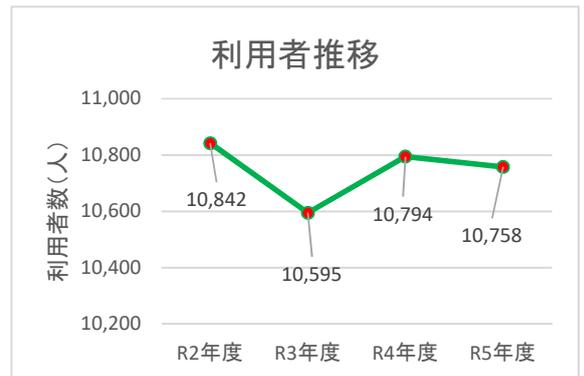
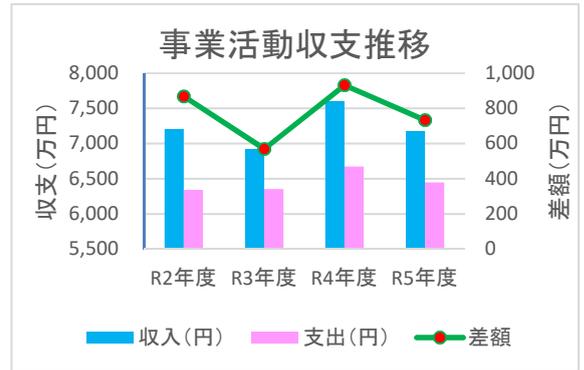
- ・居室エアコン更新2台(121号室、125号室)
平成26年度からはじめた全28室(30台)の居室エアコンの更新が今年度末で残り3台となった。
- ・119号室の床張替工事
畳の縁に踏み転倒のリスクがあるため畳からフローリングに張り替える。

人材育成・研修

- ・介護支援専門員の資格更新に関する研修
- ・愛媛県老人福祉施設大会に参加
- ・内部職員会による研修
- ・外部オンラインによる研修

トピックス

- ・混合型ケアハウスとして、お元気な方から介護が必要な方まで幅広く受け入れており、要介護状態となっても住み慣れた施設で住み続けることができるメリットはあるが、その状態が極端に広がっており、集団での運営に工夫が必要となっている。
- ・入居者30名の平均年齢は90歳台を維持している。



事業報告 : ケアハウスはまゆう

事業活動収支推移

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
収入(円)	70,073,307	69,680,282	70,851,417	69,989,086
支出(円)	62,179,617	60,822,949	64,956,701	63,194,437
差額	7,893,690	8,857,333	5,894,716	6,794,649

○状況

感染症によるクラスターの発生もなく、経営的な影響はほとんどなかった。令和5年度も安定した稼働率で推移し例年同様の収入をあげているが、収支差額面では夜勤専門員を新たに1名配置することにより人件費の圧縮を行うことができた。しかしながら、燃料費、電気代等の高騰により利益面では横ばい傾向にある。年度終盤で夜勤専門員が1名退職したため、新たな夜勤専門員の確保が喫緊の課題となっている。

施設・設備整備積立金 : 3,000,000円

利用者推移

軽費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者(人)	10,783	10,823	10,765	10,669
前年比(%)	106.2%	100.4%	99.5%	99.1%

○状況

年間の入退居者が6名おられた。入所の意思を示されてから入所までの期間が空いたケースや病気による1か月ほどの入院も2件あり、稼働率の低下につながってしまった。

施設整備

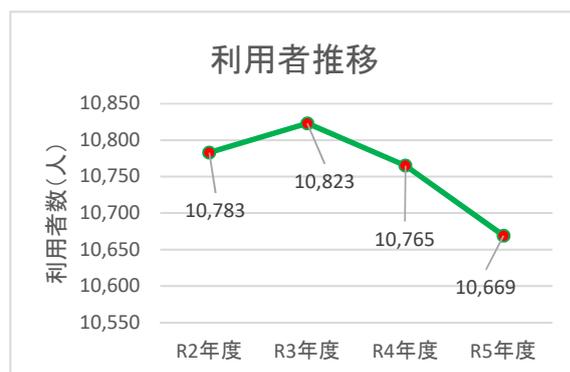
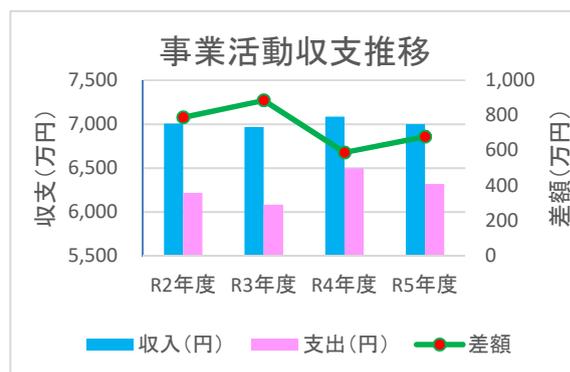
- ・カラオケ機器導入
- ・家用発電機バッテリー取替修繕
- ・居室用エアコン取替修繕

人材育成・研修

- ・OJTの推進
- ・内部職員会

トピックス

- ・エレベーター、非常用電源装置等の老朽化が問題として浮上している。



事業報告 : 三楽園

事業活動収支推移

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
収入(円)	130,253,682	132,391,983	136,481,943	130,154,041
支出(円)	121,405,961	129,701,555	135,048,166	356,965,688
差額	8,847,721	2,690,428	1,433,777	△ 226,811,647

○状況

- ・収入:前年度比較4.7%減は、新築工事費用に伴うものであり、この費用を除いた収入では、前年度と大きな差額はないと考える。
- ・支出:前年度比較164.3%増は、新築解体工事費に係る増額によるものである。新築工事費用を除けば、前年度比でも支出予算の軽費削減は出来たと考える。

利用者推移

養護	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者(人)	16,949	17,139	17,239	17,127
前年比(%)	97.9%	101.1%	100.6%	99.4%

○状況

- ・年間平均利用者数は、46.9名と前年度と比較し0.3%の減は、入院の前年度比較で13%増が原因と考える。また、年間延べ人員も前年度と比較し112名と少なく、稼働率は前年度よりも2%減の93%となった。
- ・ADL、QOLの低下から、入院治療が必要な利用者も増加傾向にあり、過去3年間を見ても年間の40名程の入院者数となっている。
- ・要介護度の認定を受けている利用者も23名と半数が受けるなど、養護での対応も厳しいものになってきている。

施設整備

三楽園新築に伴う経費

- ▶下元工務店 解体工事
 - ・二木生小学校 解体工事 93,852,000円 (前払金)
 - ・二木生小学校 解体工事 139,348,000円 (完了払)
- ▶大建設計工務 新築設計・監理業務委託料
 - ・新築三楽園 設計完了費 1,034,000円
- ▶五洋建設株式会社 新築工事
 - ・新築工事 200,000,000円 (前払金)

人材育成・研修

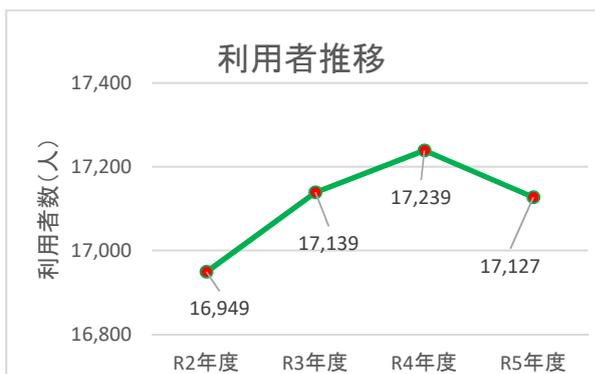
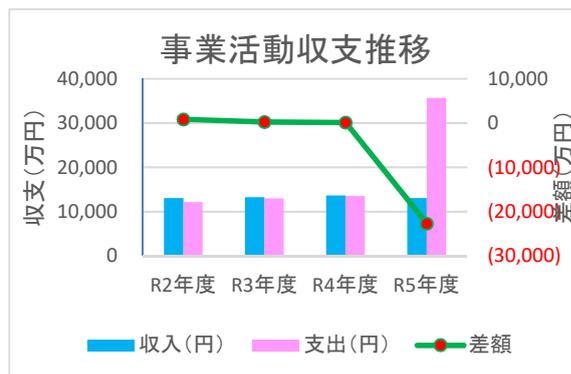
- ・施設内研修では、施設で必須となっている研修会については職員会等の場を活用して行うことができた。
- ・施設外研修についても、県老協が実施する専門的な技術、知識を習得するための研修に参加させている。

トピックス

令和5年度は、施設で感染症が流行し、職員には対策、対応に大変な思いをさせた。大変な状況の中でも、利用者が生きがいをもって生活が送れるように、外出行事等を積極的に計画し実施できたことに対しては職員に感謝したい。

令和6年度には、いよいよ待ちにまった新築が完成する予定であるため、利用者も職員も満足のいく施設づくりに努めていきたい。

- ・第三者評価を受審した。



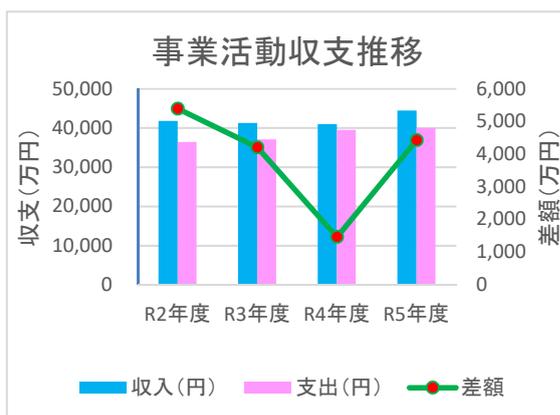
事業報告 : 松葉学園

事業活動収支推移

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
収入(円)	417,691,012	412,984,346	409,443,689	444,261,212
支出(円)	363,770,853	370,865,532	394,771,341	399,989,018
差額	53,920,159	42,118,814	14,672,348	44,272,194

○状況

松葉学園、夢の家、いっとき館、ぼのぼのの各事業所において、前年度に比べて、収入等増加した。前年度は、コロナの関係で、収入の落ち込みが激しかったため、簡単に比較することはできないが、増加の要因として、感染症関係で閉所等大きな利用者数減少がなかったこと、入院利用者の減少、職員配置の工夫、加算の増加等があげられる。令和6年度は、報酬改定もあり、検討しながら、安定した経営に取り組んでいく。



利用者推移

入所	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者(人)	25,389	25,871	23,906	25,971
前年比(%)	97.1%	101.9%	92.4%	108.6%

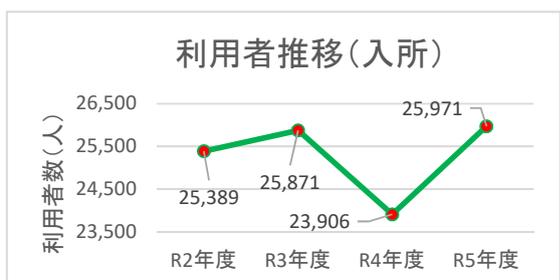
夢の家	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者(人)	13,752	13,240	13,203	14,043
前年比(%)	100.5%	96.3%	99.7%	106.4%

ぼのぼの	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者(人)	5,452	4,953	4,887	6,322
前年比(%)	101.1%	90.8%	98.7%	129.4%

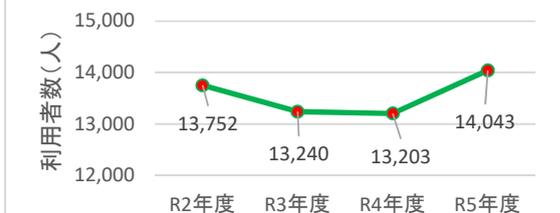
いっとき館	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者(人)	7,289	7,233	7,603	7,917
前年比(%)	114.6%	99.2%	105.1%	104.1%

○状況

松葉学園は、施設入所、生活介護とも利用者数は安定している。短期入所については、感染症の影響もあり、コロナ前の受入れ状態にはまだ至っていない。夢の家は、新規利用者の受入れもあり、ほぼ定員を満たしている。ぼのぼのは、児童発達支援の利用者が増加している。いっとき館については、一般就労等で利用が終了する利用者もいるが、新規利用者もあり、調整しながら受入れを行っている。



利用者推移(夢の家)



利用者推移(ぼのぼの)



施設整備

松葉学園

- ・冷凍冷蔵庫買い替え ・特浴給湯器買い替え
- ・非常階段、作業棟屋根塗装 ・エレベーター修理 ・ユニット食洗器買い替え
- ・居室エアコン買い替え ・車いす用体重計購入 ・特定建築物定期調査

夢の家

- ・食洗器買い替え

いっとき館

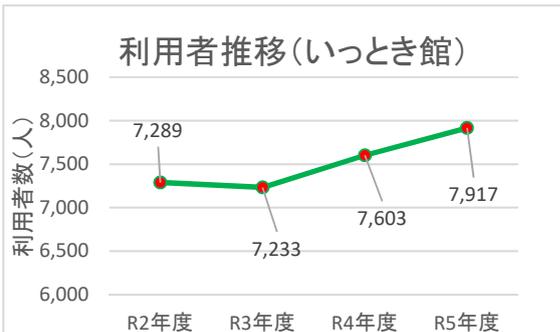
- ・健康器具(なごみかん)修繕 ・しいたけ原木購入

人材育成・研修

- ・強度行動障害、サービス管理責任者研修、また、県福祉協会、南予福祉施設会等で開催される研修に参加
- ・事業部や事業所内でのOJT関連研修実施

トピックス

- ・社会福祉士国家資格に2名が合格した。



事業報告 : 希望の森

事業活動収支推移

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
収入(円)	306,514,382	302,483,622	305,121,422	292,595,452
支出(円)	197,424,549	205,343,225	214,422,824	218,063,420
差額	109,089,833	97,140,397	90,698,598	74,532,032

○状況

令和5年度において、高齢化、障害の重度化などにより、退所者、入院者（現在も2名が長期入院中）が増加し、事業活動収入については大幅な減少となっている。事業活動支出については前年度より増加しているが、光熱費の高騰、物価高などの影響、また、施設設備の老朽化により修繕・機器の更新が必要であったことが大きい。人件費については若干ではあるが、前年度より抑えられている。相談支援においては主任相談支援専門員配置加算を年度途中から算定しているところではあるが、計画作成件数の減少の影響により、収支差額は前年度を大きく下回る結果となった。

利用者推移

入所+生活介護	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者(人)	27,660	27,830	27,056	27,177
前年比(%)	99.0%	100.6%	97.2%	100.4%

短期	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者(人)	1,360	1,413	858	599
前年比(%)	89.4%	103.9%	60.7%	69.8%

日中一時	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者(人)	332	373	276	541
前年比(%)	104.7%	112.3%	74.0%	196.0%

○状況

短期入所については定期的に利用されていた方が、高齢者施設へ入所されたことで大幅に稼働が落ちている。日中一時は毎日利用される方と土日の受入を積極的に進めたことで前年度の倍近くの稼働状況。生活介護についてはほぼ変わらない結果となった。

施設整備

- ・単水栓取替工事(手動→自動) 16か所 ・ルームエアコン 2か所
- ・ポッチャ用具一式 ・居室の畳表替え
- ・交流ホーム軒 ・庇 ・壁補修工事 ・高圧機器取替工事

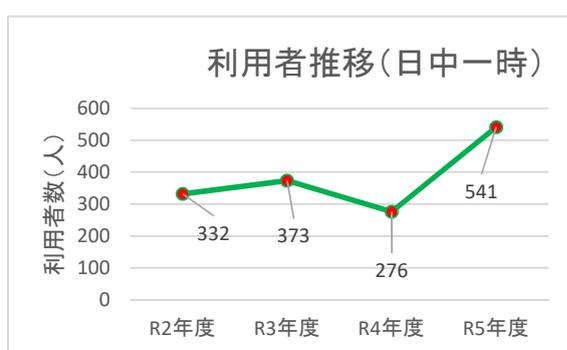
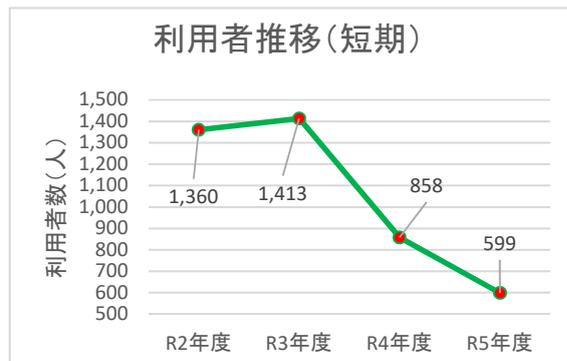
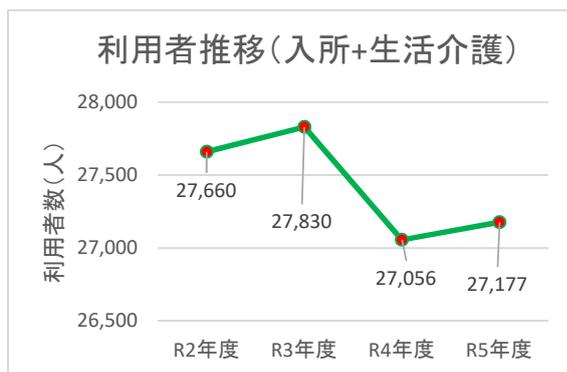
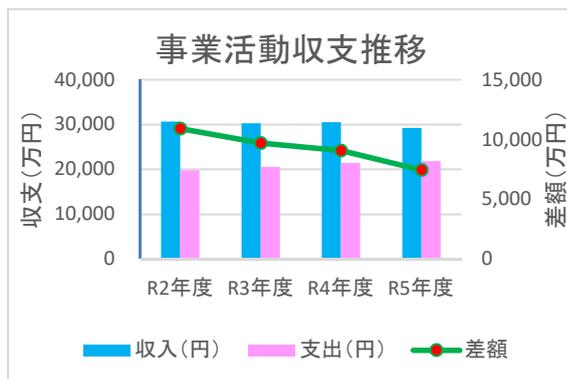
人材育成・研修

- ・サビ管・児発管更新研修・実践研修
- ・南予福祉施設会 職員合同研修会「福祉の現場で輝くコミュニケーション術」
- ・強度行動障がい支援者養成研修(基礎研修)
- ・四国地区知的障害関係職員研修会
- ・「福祉の職場」チームリーダー研修会
- ・主任相談支援専門員養成研修
- ・権利擁護推進のための担い手養成研修

トピックス

コロナウイルス感染症の5類への移行により、利用者の生活においても、外出、帰宅などにおける制限を解除し、当たり前の日常が戻りつつある。しかしながら利用者の高齢化・障害の重度化は顕著であり、以前のような大規模なイベントの開催は困難な状況となっている。そのような中でも、より支援を個別化することで、楽しみある生活を提供出来るように工夫を行なっている。上にも記したが、施設の老朽化により様々な不具合が生じてきている。数年前の施設の建て替えを見据えて、建設委員会を立ち上げている。このPTを中心に視察などを実施していく予定である。

- ・第三者評価を受審した。



事業報告 : ひまわりの家

事業活動収支推移

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
収入(円)	185,160,127	209,556,593	211,666,842	216,820,634
支出(円)	151,541,126	159,578,231	158,547,655	156,313,915
差額	33,619,001	49,978,362	53,119,187	60,506,719

○状況

事業活動の収支差額であるが、児童養護利用者推移で記しているように措置入所児童は減少しているが、措置費保護単価改正により、事業活動収入は前年比約4%の増加。支出は2.2%減であり、収支差額は20%以上の黒字増となった。児童心理は、事業活動収支差額は前年度比6%の減ではあるが、黒字を計上出来ており、養護と心理の収支差額合計でも前年度比10%以上の増で安定した経営状態を継続できている。

施設・設備整備積立金 : 円

利用者推移

児童養護	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者(人)	7,109	6,739	6,048	5,515
前年比(%)	101.7%	94.8%	89.7%	91.2%

児童心理	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者(人)	1,632	2,322	2,360	1,618
前年比(%)	80.0%	142.3%	101.6%	68.6%

○状況

養護は定員20名に対し4月現員16名のスタートから、7月に1名退所。年度末は高校生4名が就職等で退所となった。更に障害児支援施設に年度末で1名3月に措置変更となった。併設心理治療施設より、次年度から中学生男児1名措置変更予定で次年度は11名スタートの予定。児童心理は定員10名に対し、5名のスタート。9月に1名退所。1名併設児童養護へ措置変更予定者あり。4月上旬の1名新規入所の予定あり。次年度は5名のスタート予定。施策としての里親委託推進により、措置児童の打診は減少。

施設整備

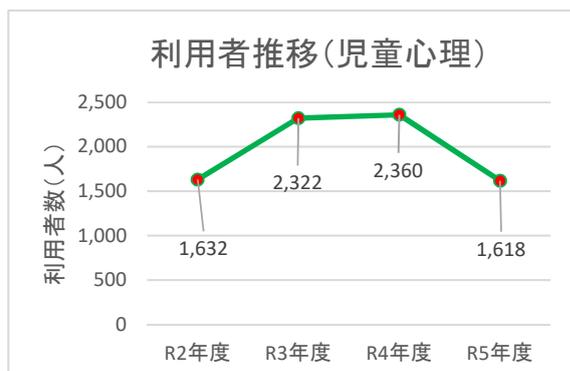
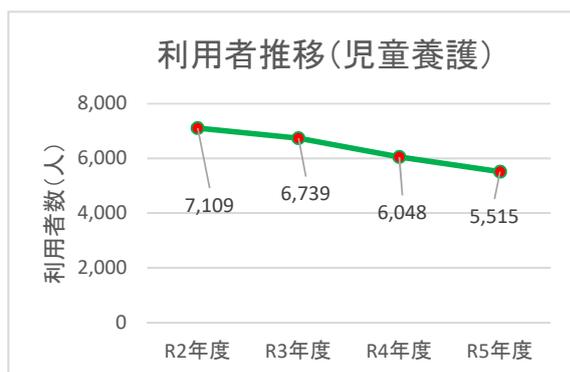
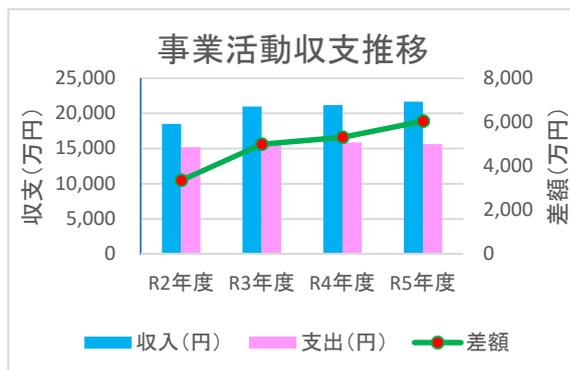
全自動洗濯機1台 非常食更新

人材育成・研修

虐待防止委員会の取り組みとして、外部講師により、「アドラー心理学に基づいた支援技法」や「強度行動障害児への対応」等について学び、研鑽を深め、日々の支援につなげた。

トピックス

・5月～10月ごろにかけて、養護・心理ともに一部小学生に施設生活の乱れがあり、その対応に職員は疲弊する状況であったが、職員間の連携や支援方法の共有等で児童の生活の乱れも概ね落ち着いた。
 ・児童養護の心理士、保育士、児童心理の児童指導員と年度内に3名の正職員離職あり。



事業報告 : うわまち未来こども園

事業活動収支推移

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
収入(円)	190,832,091	168,673,752	191,835,771	181,481,976
支出(円)	154,470,701	144,278,857	154,730,739	150,518,414
差額	36,361,390	24,394,895	37,105,032	30,963,562

○状況

・令和5年度145名でスタートし、年度末は150名となった。
 家庭の都合での途中退園が複数世帯あったため、未満児の受け入れはできたが収入は伸び悩んだ。

施設・設備整備積立金 : 18,000,000円

利用者推移

こども園	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者(人)	1,854	1,765	1,896	1,780
前年比(%)	87.3%	95.2%	107.4%	93.9%

一時保育	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者(人)	345	354	379	420
前年比(%)	78.1%	102.6%	107.1%	110.8%

学童保育	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者(人)	480	448	439	470
前年比(%)	102.6%	93.3%	98.0%	107.1%

○状況

・出生数の減少に伴い、利用人数も減少傾向にある。
 家庭の都合による退園等が重なったが、未満児を中心に受け入れることが出来た。
 ・一時保育は、一年を通して利用者があった。保護者の就労、里帰り出産による利用など多岐にわたる理由での利用となった。
 ・学童保育は、半年を過ぎると家庭の都合で退所する児童がいたが、一年を通して利用者数は安定していた。待機児童もいない。

施設整備

・クッションマット(1・2歳児 保育室) ・屋外電気時計
 ・災害用音響セット ・セフティータイル(鉄棒下マット)
 ・トムソーヤシリーズベンチセット2台

人材育成・研修

・OJT新人・新任研修 ・西予市保育協議会研修会 ・メンタルヘルス研修会
 ・保育士キャリアアップ研修(乳児保育・幼児保育・障がい児保育 他)
 ・愛媛県教育・保育施設初級職員研修会
 ・四国ブロック保育研究大会 ・防災に関する研修会
 ・第66回全国保育研究大会(大分県) ・愛媛県保育事業研修大会
 ・絵画、創作部会 ・園内研修 ・研修部会

トピックス

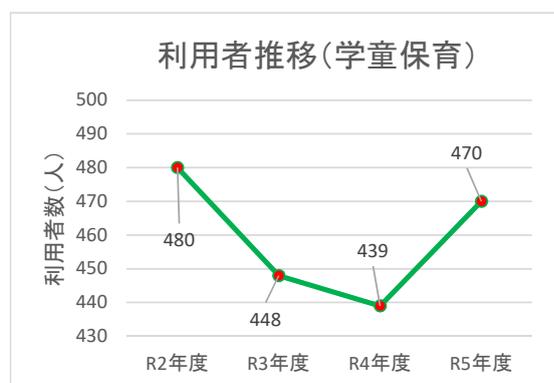
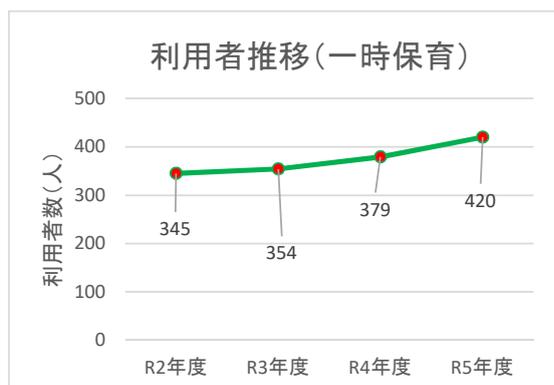
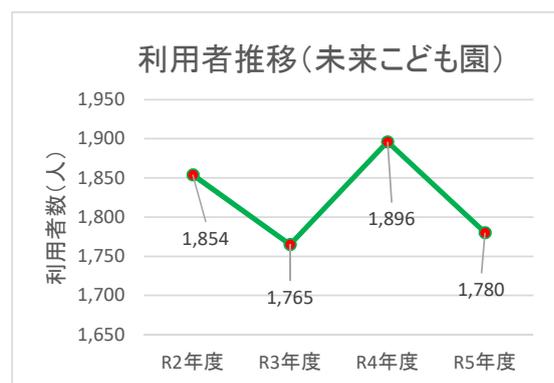
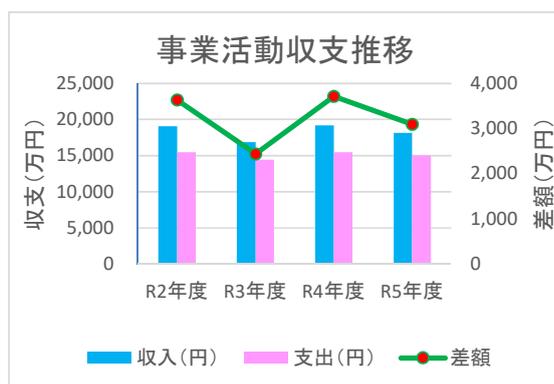
・令和5年5月、コロナが5類へ移行され行事等の人数制限や内容などは緩和していったが、コロナ禍で学んだ行事への取り組み方などは活かしていった。

・宇和中生や宇和高生との交流を再開し、何度も関わる機会を持てた。

また、保育参加も実施して保護者と一緒に散歩に出掛けたり、遊んだりして保育士体験をしていただいた。

・職員の研修の機会も多く持て、施設見学や全国の研修会に参加が出来て、学んだことを活かした。

・第三者評価を受審した。



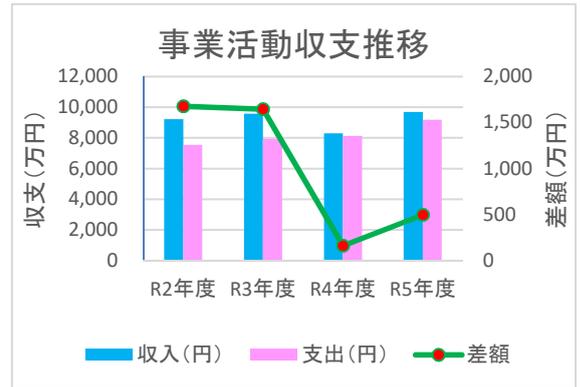
事業報告 : 中川保育園

事業活動収支推移

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
収入(円)	92,138,017	95,781,009	82,868,131	96,803,765
支出(円)	75,360,296	79,332,415	81,262,077	91,839,500
差額	16,777,721	16,448,594	1,606,054	4,964,265

○状況

・保育園は今年度、定員の60名を超え62名まで増えたが、職員不足の為それ以上にはならなかった。大規模修繕を実施した。
 ・学童保育は、定員40名に対し、41名でのスタートとなった。1、2年生の利用者が37名と多かった。



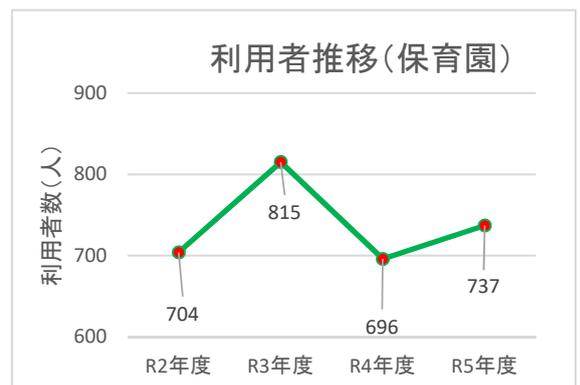
利用者推移

保育園	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者(人)	704	815	696	737
前年比(%)	99.7%	115.8%	85.4%	105.9%

学童保育	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者(人)	382	282	473	463
前年比(%)	93.2%	73.8%	167.7%	97.9%

○状況

・保育園は今年度、未満児の利用も増え、0歳児4名を含め16名を受け入れた。
 ・学童保育は、小学校敷地内にある為とても利用しやすい環境となり増員に繋がっている。



施設整備

保育園

・各保育室と事務所に空調設備一式購入 ・外部塗装修繕工事
 ・乳児組裏テラスのマット修繕とフェンスシート張替え ・各所修繕工事
 ・複合遊具と2連ブランコ修繕工事 ・防災頭巾・避難車 ・LED照明交換工事

学童

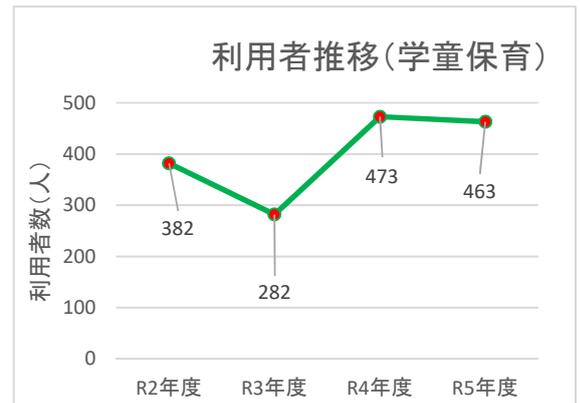
・モノクロ複合機

人材育成・研修

・キャリアアップ研修 ・経営青年会研修会 ・愛媛県保育協議会研修会
 ・新人・新任職員研修会 ・OJT研修 ・各部会研修(絵画・創作)
 ・西予市保育協議会研修会 ・南予地区人権同和教育研修会
 ・県人権同和教育研究会 ・園内研修(毎月)

トピックス

・保育園は、今年度は新型コロナウイルス5類移行により、行事は出来る範囲で実施した。お祭りごっこも保護者の参加のもと実施、地域の文化祭にも年長児が参加し、五ッ鹿やお稚児の舞いを披露し、地域の方々や保護者にも喜んでくれた。
 ・保育理念の「生きる力を培う」の基、園外保育や食育事業など自然の中での体験を多く取り入れ、また、異年齢や様々な人との関わりを通して、優しさや思いやりの気持ちが育っている。
 ・老朽化していた園舎を、大規模修繕しとても綺麗になった。
 ・学童保育では、中川小敷地内に新設して頂いたこともあり、良い環境の中で、子どもも職員も伸び伸びと落ち着いて過ごせている。行事に関しては、今年度は出来る範囲内で行事を検討しながら実施し、子どもたちが楽しめる取り組みを行った。



事業報告 : 田之筋保育園

事業活動収支推移

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
収入(円)	91,382,285	77,688,132	73,372,457	73,026,582
支出(円)	64,398,259	64,330,542	59,025,233	58,330,718
差額	26,984,026	13,357,590	14,347,224	14,695,864

○状況

定員50名に対して、概ね近い利用園児数が確保されている。また、未満児を多く受け入れているため、園児数が増えていなくても収入が確保できている。

施設・設備整備積立金 : 14,000,000円

利用者推移

保育園	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者(人)	711	626	605	607
前年比(%)	122.8%	88.0%	96.6%	100.3%

○状況

50名の定員に対して48名でスタートとなった。最大52名と定員を上回る時期もあったが、引っ越しや育休取得等、家庭の都合により転園、退園があった。

施設整備

- ・園庭ログハウスの塗り替え ・園庭排水修繕
- ・トイレ水栓修繕 ・複合遊具の補修
- ・ルクミー保育システムプラン変更による体温計、午睡チェック等追加
- ・保育材料(絵本、紙芝居、アスレチックブロック等)購入
- ・小型滑り台の塗装剥がれ補修
- ・砂場安全対策(柵)及び砂を増量
- ・テント(イベント・日陰対策)購入
- ・ホール壁紙補修

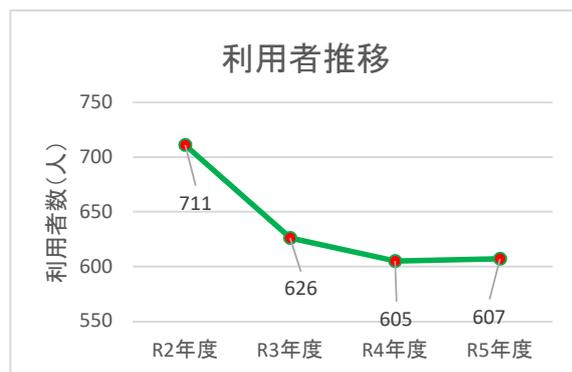
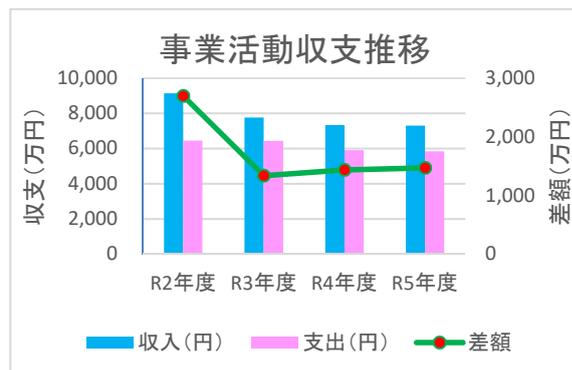
人材育成・研修

- ・保育士等キャリアアップ研修会
- ・法人主催研修会(OJT、各委員会)
- ・部会研修(絵画、創作、ICT、人材育成)
- ・西予市保育協議会研修会
- ・園内研修

トピックス

・年度途中で新型コロナウイルスが5類となり、徐々に行事にも制約がなくなり、活発に行えるようになった。コロナウイルスの感染が広がる事はなかったが、インフルエンザや子ども特有の季節性の感染症は年間通して数名出ている状況が続くなど、コロナ禍を明けて、園だけでなく家庭での行動範囲が広がったことによる影響が出ていたように推測される。

・前年度3月に採用した厨房職員がメンタル不調により、仕事に來られなくなり、自主退職された。そのため、厨房職員が足りなくなりパート職員を雇用する。



事業報告 : 下宇和保育園

事業活動収支推移

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
収入(円)	64,893,108	58,500,023	97,037,673	91,073,108
支出(円)	57,347,544	55,860,619	88,551,606	92,472,023
差額	7,545,564	2,639,404	8,486,067	△ 1,398,915

○状況

- ・下宇和:施設整備(保育室、ホール床の修繕、遊具の修繕等)による支出が増加した。
- ・明間:常に定員割れの状況が続き収入は減少。
- ・明下田クラブ:修繕、購入品もなく支出は抑えられた。

施設・設備整備積立金 : 1,000,000円

利用者推移

下宇和保育園	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者(人)	466	423	457	474
前年比(%)	73.4%	90.8%	108.0%	103.7%

明間保育園	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者(人)	173	155	153	97
前年比(%)	-	89.6%	98.7%	63.4%

学童保育	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者(人)	420	332	255	290
前年比(%)	117.0%	79.0%	76.8%	113.7%

○状況

- ・下宇和:定員40名に対し年度当初39名。途中入退園もあり年度末は40名であった。
- ・明間:定員20名に対し年度当初6名。途中入園もあり年度末に9名であった。
- ・明下田:定員40名に対し年度当初25名(皆田小19名・田之筋小6名)であったが、途中退会者もあり、年度末24名(皆田小16名・田之筋小8名)であった。田之筋小学校区児童が田之筋放課後こども教室を利用する状態は継続している。

施設整備

下宇和保育園

- ・排水、排水管設備修繕 ・給食室配膳窓改修工事 ・床張替(全保育室・廊下外)
- ・複合遊具滑り台修繕、全塗装 ・登り棒セフティータイル設置 ・吊り金具交換
- ・S字遊具基礎溶接 ・各遊具移設 ・砂場囲い丸太加工 ・門扉修繕
- ・自動火災報知機改修 ・洗濯機更新 ・NAS購入他

明間保育園

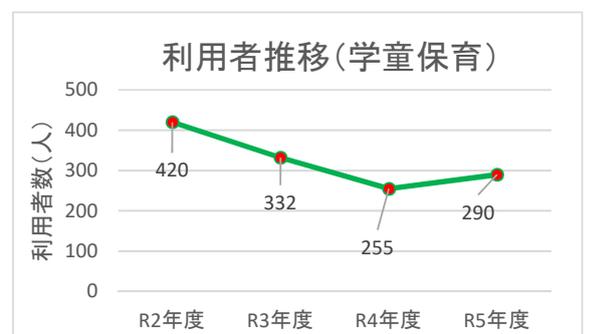
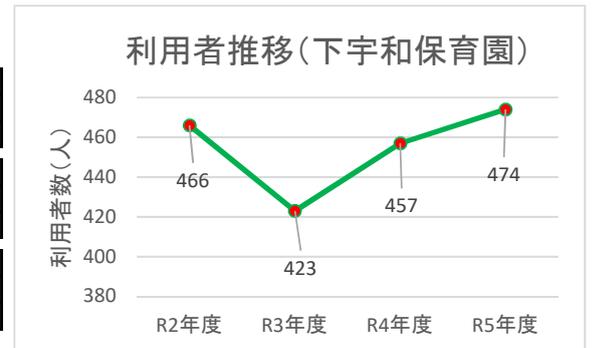
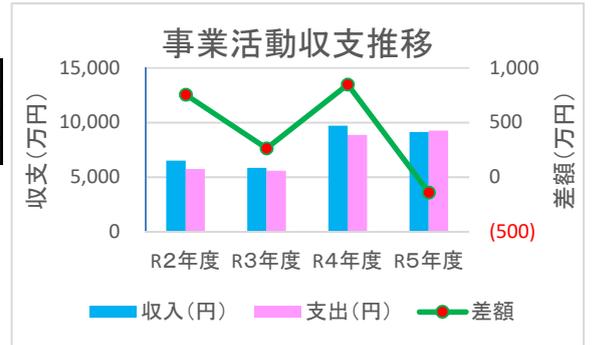
- ・公用車8人乗りワゴン車検と整備 ・インクジェットプリンター購入 ・三輪車購入
- 明下田クラブ
- ・レゴブロック等購入・公用車修繕

人材育成・研修

- ・西予市保育協議会研修・保育士等キャリアアップ研修
- ・部会研修(創作・絵画)・法人主催研修(OJT・各部会)
- ・ハラスメント研修・園内研修

トピックス

- ・明間保育園:来年度の入園について、西予市でとりまとめが行われ、定員20名のところ申込者3名との報告。そのため適切な保育活動を行うだけの園児数を確保できない状況、また、経営的にも厳しく令和6年度は休園となる。
- ・下宇和保育園:令和6年度の定員は50名(現在は40名)とし、明間保育園の休園による待機児童を出さない為の対策をとる。
- ・コロナが5類に移行し園内外の行事について、交流系の行事も再開することができた。



事業報告 : 宇和保育園

事業活動収支推移

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
収入(円)	143,590,964	153,313,304	148,817,982	154,807,316
支出(円)	122,894,657	129,644,067	136,068,671	141,611,390
差額	20,696,307	23,669,237	12,749,311	13,195,926

○状況

定員を120名から130名に変更したが、年間を通して130名になることはなかった。0、1歳児を多く受け入れたことで、収入は安定できた。

施設・設備整備積立金 : 11,000,000円

利用者推移

保育園	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者(人)	1,369	1,471	1,440	1,463
前年比(%)	103.8%	107.5%	97.9%	101.6%

一時保育	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者(人)	379	527	443	166
前年比(%)	55.0%	139.1%	84.1%	37.5%

支援センター	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者(人)	2,519	2,108	1,801	4,014
前年比(%)	90.6%	83.7%	85.4%	222.9%

学童保育	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者(人)	7,183	7,930	7,639	6,341
前年比(%)	96.1%	110.4%	96.3%	83.0%

○状況

コロナ5類移行により、支援センターの利用が大幅に増加した。一時保育については、職員が不足していたこともあり、お断りをしなくてはならないことが多くあった。

施設整備

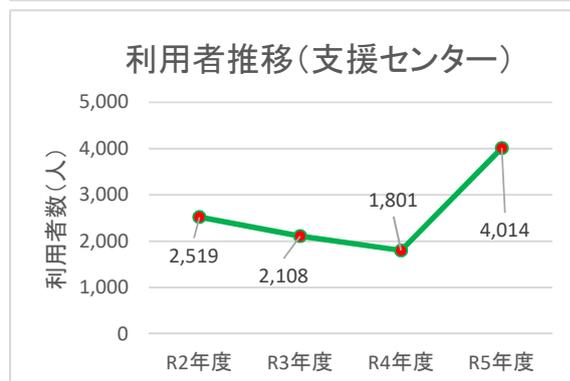
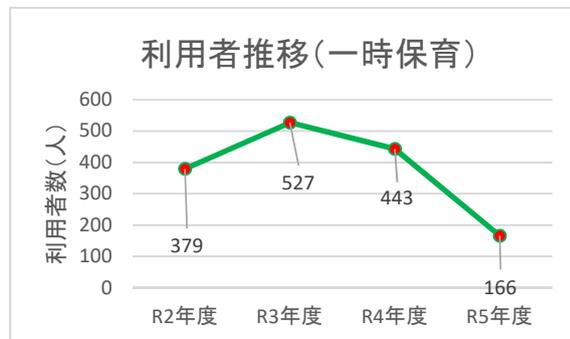
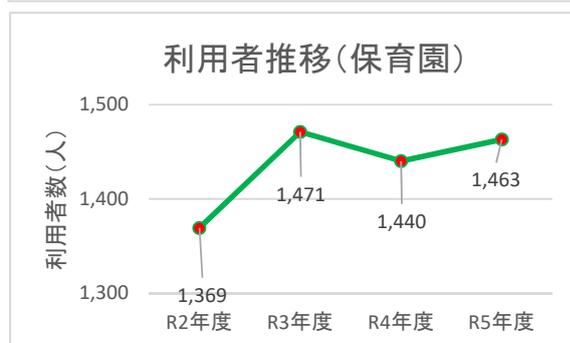
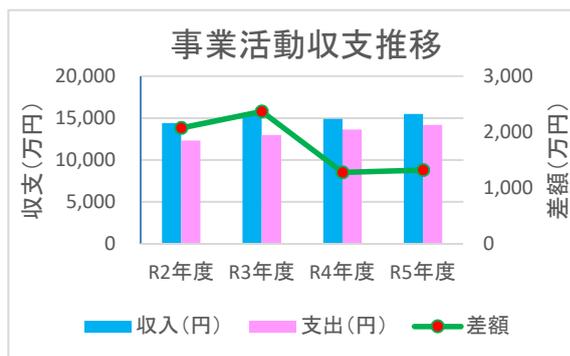
- ・災害用音響機器セット
- ・車内置き去り防止システム
- ・屋外用テント
- ・ホール改修工事

人材育成・研修

- ・法人内研修
- ・保育協議会関係研修(全国・愛媛県・西予市)
- ・保育士キャリアアップ研修
- ・園内研修

トピックス

- ・コロナが5類になったことで、少し運営にも変化があった。コロナ禍で得たものもあるため、行事等は職員の働き方も考慮しながら対応していきたい。
- ・年度途中での退職や異動もあり、内部的な配置がえをしなくてはならないような状況であった。そのため職員が前年度に比べて疲弊している時期もあった。
- ・経営面では安定していた。



事業報告 : 石城保育園

事業活動収支推移

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
収入(円)	63,379,959	63,503,749	62,524,294	54,811,360
支出(円)	55,693,522	59,123,986	55,865,281	46,805,196
差額	7,686,437	4,379,763	6,659,013	7,052,000

○状況

- ・定員を10名減の30名にしたが、4月のみ定員割れで6月からは定員を超える利用者があった。
- ・大規模な修繕や購入物がなかったため、支出を抑えることができた。

施設・設備整備積立預金 : 13,000,000円

利用者推移

保育園	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者(人)	581	553	517	382
前年比(%)	94.8%	95.2%	93.5%	74.5%

○状況

- ・地域の少子化に伴い、定員を10名減の30名とした。
- ・新年度29名でスタートし、4名の途中入園、1名の途中退園があり、年度末には34名となった。

施設整備

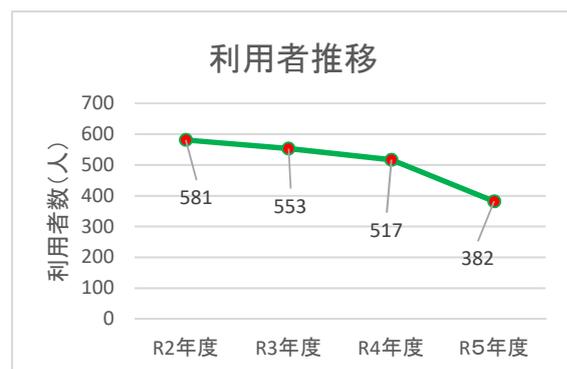
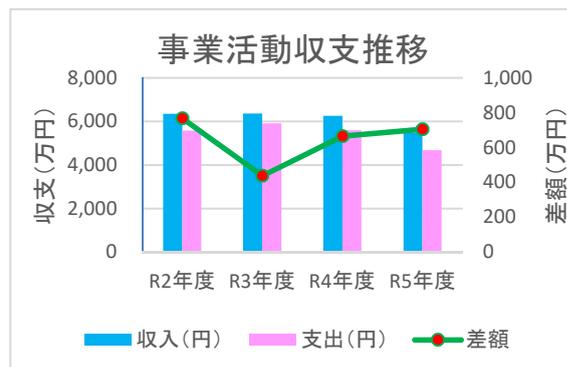
- ・芝刈り機 ・剪定 ・漏水修繕 ・物置

人材育成・研修

- ・キャリアアップ研修 ・絵画部会 ・創作部会 ・ICT研修 ・接遇研修
- ・西予市保育協議会研修会 ・南予地区人権同和教育研究協議会
- ・愛媛県人権同和教育研究大会 ・四国ブロックリーダー研修会
- ・社会福祉法人セミナー ・四国ブロック保育研究大会
- ・愛媛県教育保育施設長研修会 ・むぎの穂保育園視察
- ・愛媛県保育事業研修大会 ・ベビーマッサージ
- ・特定給食施設等関係者研修会 ・ハラスメント研修
- ・メンタルヘルス研修

トピックス

- ・5月に新型コロナウイルスが5類へ移行し、行事等見直しを行いながらコロナ禍で学んだことを活かし、時代の変化に対応した取り組みをしてきた。行事については、七夕やお祭りごっこ、ひな祭り等を行事としてではなく普段の保育に取り入れウィークで取り組み、行事として取り組んできた餅つきや七草がゆなどは月のクッキングとした。そうすることで、職員の働き方改革の観点からも計画書の削減等ができ、子どもたちも無理なく活動することができた。
- ・マンモス田や笠置古墳などに出かけたり、保護者の田んぼを借りて泥田んぼ遊びをしたり、自然の中での体験を多く取り入れ、豊かな心やたくましい身体が育っている。



事業報告 : 多田保育園

事業活動収支推移

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
収入(円)	44,718,631	56,782,363	46,916,077	45,652,508
支出(円)	38,283,804	41,246,616	42,017,448	40,940,512
差額	6,434,827	15,535,747	4,898,629	4,711,996

○状況

・令和4年度より定員を20名から30名に変更したため、公定価格単価減により収入減となっている。令和5年度は28名の利用があった。

施設・設備整備積立金 : 4,000,000円

利用者推移

保育園	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者(人)	287	310	292	325
前年比(%)	102.1%	108.0%	94.2%	111.3%

○状況

・24名でスタートし、6月1名、7月4名の途中入園と7月末1名の退園があり、園児数28名となった。その後3月まで園児数の変動はなかった。地域外からの利用者は3名であった。

施設整備

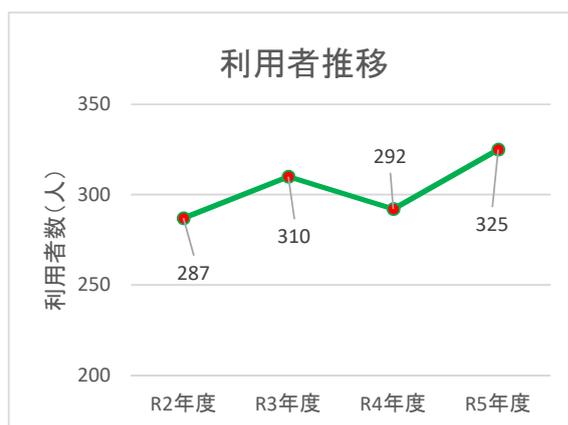
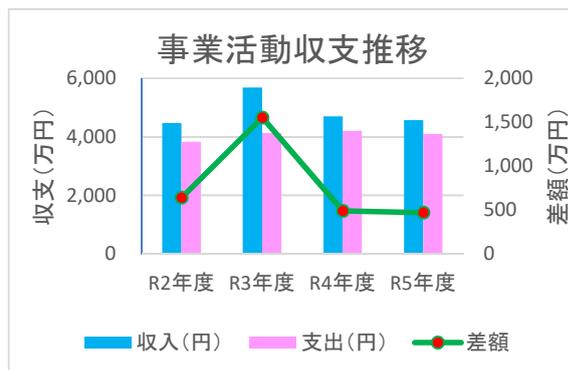
- ・2連ブランコ座板、S字フック交換
- ・厨房冷凍冷蔵庫部品交換修理
- ・厨房洗浄機部品交換修理
- ・砂場の木枠交換修理

人材育成・研修

- ・キャリアアップ研修
- ・全国保育研究大会(大分県)
- ・四国ブロック保育研究大会
- ・愛媛県保育事業研修大会
- ・特定給食施設等関係者研修会
- ・西予市保育協議会研修会
- ・法人主催研修(OJT・部会研修等)
- ・園内研修(自己評価・人権擁護セルフチェック・リスクについて等)
- ・愛媛難聴児を共に育む会(リモート)

トピックス

・新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、保護者参加の行事や、他園の友だち、地域の方々との交流などできることが増えてきている。また、保育理念である『様々な体験や友だち地域の人々との関わりの中で生きる力の基礎を培う』を念頭に置き、多田地区の豊かな自然の中へ出かけ、様々な体験を行うことができた。



事業報告 : 高山保育園

事業活動収支推移

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
収入(円)	51,673,421	43,181,003	41,093,572	42,961,532
支出(円)	46,312,843	38,315,427	37,039,074	42,693,312
差額	5,360,578	4,865,576	4,054,498	268,220

○状況

新園舎での保育も定着している。修繕費等多額な支出は無い。西予市からの補助金がない場合には資金収支マイナスとなり、運営が厳しい状況にある。以前より検討中であつた認定こども園への移行申請を行う。

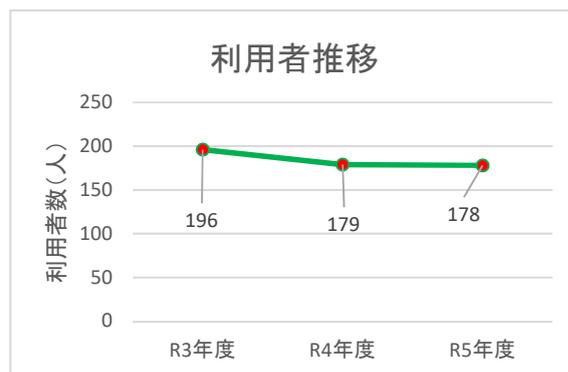


利用者推移

保育園	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者(人)	211	196	179	178
前年比(%)	—	92.9%	91.3%	99.4%

○状況

4月当初、12名の園児でスタートした。途中入園児が4名あり、年間トータル178名、月平均15名であった。移住者や俵津保育所等に入園できない園児の受け皿として園児数を確保できている状況である。地域別で見ると、田之浜地区2名、高山・宮野浦地区12名、狩浜地区2名となっている。出生児が少なく今後も増える状況にない。



施設整備

- ・ルクミー保育システムプラン変更による体温計、午睡チェック等追加
- ・保育材料購入(絵本、玩具等)
- ・足洗い場シャワーの修繕
- ・総合遊具の腐食剤塗布

人材育成・研修

- ・キャリアアップ研修 ・OJT 委員会
- ・園内研修(ハラスメント、感染症、AEDリスク、保育研修等)
- ・絵画部会 ・創作部会

トピックス

新園舎での保育に、園児や保護者も慣れていただき、職員も落ち着いた気持ちの良い環境で過ごせている。園舎横の体育館利用や園外保育も積極的に行っている。「よいとこな広場」へも出向く事が多く地域の方との交流の場となっている。

- ・コロナ5類移行後は、地域の行事やイベントに参加する機会が増え、秋祭りや文化祭など楽しむことが出来ている。
- ・在宅児を対象とした育児サークルを月に一度開催し、在宅児とその保護者の方に色々な内容で楽しんでいただく企画を行ったが、沢山の参加があり、子育ての悩みを一緒に考えたりと有意義な時間となっている。今後も継続して取り組み、入所へも繋げたい。